

埼玉県における大学と地域等との連携事例(平成29年度)

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
1	埼玉大学	連続市民講座 part8「埼玉を流れるもの－水と人－」	平成21年度	産業界(企業等)			読売新聞さいたま支局との共催で、埼玉大学における研究成果の一端を市民の皆さまに紹介し、豊かな地域づくりに役立てていただくことを目的として開催している公開講座。平成29年度は「埼玉を流れるもの－水と人－」をテーマに全6回開講した。
2	埼玉大学	埼玉大学産学官連携協議会	平成12年度	産業界(企業等)			県内企業等と埼玉大学の研究とを有機的に結びつけ、地域産業の一層の発展を図ることを目的に設立され、県内企業等の経営者、技術者および埼玉大学の研究者との交流の場を提供する産学交流事業、埼玉大学における各種情報発信、共同研究等への発展が期待される研究課題についての研究会活動などを実施している。
3	埼玉大学	埼玉県地域共同リポジトリ	平成20年度	大学・短大(大学・短大間連携)			埼玉県内の大学・短大図書館、その他関係機関の図書館が連携してそれぞれの機関の教育研究等成果物や地域情報資料をインターネットを介して広く内外に発信している。
4	埼玉大学	埼玉大学高大連携講座	平成12年度	幼保・小・中・高等学校等			高等学校生徒に大学教育を開放し、もって大学教育及び本学に対する理解並びに高等学校教育の一層の向上を計ることを目的として、本学と協定を締結している高等学校の生徒に対し、本学で開講している授業を受講してもらい、希望者には本学の規則に基づいて単位を認定している。 ※協定締結校：県立浦和高等学校、県立浦和北高等学校、県立川口北高等学校、県立大宮高等学校、県立浦和西高等学校、県立浦和第一女子高等学校、さいたま市立浦和高等学校、さいたま市立浦和南高等学校、さいたま市立大宮北高等学校、さいたま市立大宮西高等学校
5	埼玉大学	課題解決型長期インターンシップ	平成28年度	産業界(企業等)	自治体(行政)		学生の課題解決力及び就業意識を高め、県内企業への理解を深めるとともに、県内企業が抱える業務運営上の課題解決に資することを目的とし、平成28年度から「課題解決型長期インターンシップ」を開講している。各企業での実習後、参加学生、受入企業、大学関係者が参集し「成果報告会」を開催する。
6	埼玉大学	課題解決型長期インターンシップ	平成28年度	産業界(企業等)			地域の魅力づくり・活性化と、次世代の地域づくりを担う人材育成を目的とした包括連携協定を締結しているJR東日本大宮支社と連携し、平成28年度から「課題解決型長期インターンシップ」(全15回)を開講している。関連講義、フィールドワーク、グループワークを経て、学生たちが検討したまちづくりの具体案を最終講義で発表する。
7	埼玉大学	課題解決型短期インターンシップ	平成29年度	産業界(企業等)			アトレ浦和店と連携し、平成29年度から「課題解決型短期インターンシップ」(全8回)を開講している。フィールドワークや取材を通して、浦和を中心とした地域の魅力づくりや活性化のための提案をまとめ、最終講義で発表する。また、その内容はアトレ浦和情報誌「U LaLa」に掲載される。
8	埼玉大学	地域志向科目(地域創生を考えるa、地域創生を考えるb)の実施	平成28年度	産業界(企業等)	自治体(行政)		県内企業や県内自治体から招いたゲストスピーカーの講演を通して、「社会へ出るために、今、何をすればよいのか?」という自らのキャリア形成について考えてもらうとともに、埼玉県に対する理解を深めてもらうことを目的とした授業科目を開講している。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
9	埼玉大学	JR東日本大宮支社との連携事業	平成27年度	産業界(企業等)			JR東日本大宮支社との間で締結した地域の魅力づくりや人材育成に関する包括協定に基づき、平成29年度は以下の取組みを行った。 ①エキュート大宮とのお弁当開発コラボ JRのグループ会社であるエキュート大宮内にある専門店と連携し、教育学部の授業の一環として学生が考案したアイデアを元に両方で検討を重ね、県産食材の再発見・地産地消の取組を深めることを目的としたお弁当の共同開発を行った。 ②保育園で食の大切さを伝える紙人形劇と埼玉県産野菜を使用したお料理ワークショップを実施 同社が進める子育て支援事業「HAPPY CHILD PROJECT」の趣旨を踏まえて連携し、教育学部の授業の一環として「子育て期の親子とのかかわりを通して幼児期親子に対する食育活動の意味を考察する」をテーマに、保育園での保健活動を体験する教育プログラムとして行った。
10	埼玉大学	高校生のためのグローバルセミナー	平成22年度	自治体(行政)			県内在学・在住の高校生を対象として、グローバル人材へのきっかけ作りとなるべく、高校生が国際感覚を身につけたいという気持ちを後押しするための講座を開催している。
11	埼玉大学	埼玉大学教養学部ミュージアム・カレッジ	平成13年度	自治体(行政)			埼玉大学教養学部が埼玉県立歴史と民俗の博物館・埼玉県立近代美術館とそれぞれ隔年で共催する公開講座。平成29年度は埼玉県立近代美術館との共催で「メキシコと20世紀美術」をテーマに全4回開講した。
12	埼玉大学	埼玉大学経済学部市民講座	平成8年度	自治体(行政)			埼玉大学経済学部とさいたま市教育委員会の主催で実施している公開講座。開かれた大学を実現するため、県民・市民との交流を図り、地域社会の文化の向上に資することを目的としており、平成29年度は「現代における経済、経営、法律の変容」をテーマに全8回開講した。
13	埼玉大学	埼玉大学特別公開講座	平成22年度	地域団体(NPO、ボランティア等)			埼玉県経営者協会会員の新たな知識吸収・情報収集の場、埼玉大学教員等の研究成果発表の場とするとともに、埼玉大学と地元企業のネットワーク強化を図ることを目的として公開講座を開催している。
14	埼玉大学	桜区知識満開講座	平成22年度	自治体(行政)			桜区との交流事業として、社会情勢や経済、文化やスポーツなど桜区の方々が話題として取り上げる事柄をテーマに、本学教員が講師を務めて講座を開講している。
15	埼玉大学	埼玉大学・戸田市連携講座	平成23年度	自治体(行政)			戸田市民大学認定講座として実施している公開講座。平成29年度は全4回開講した。
16	埼玉大学	3D-CAD & 3Dプリンター無料研修	平成26年度	自治体(行政)			さいたま市と連携して、市内のものづくり企業が新事業展開など新たな試作開発における人材の育成支援を目的とする。さいたま市の「さいたま市高度ものづくり人材育成支援業務」の一環として実施している。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
17	埼玉大学	リカレント教育 経済学部夜間開放授業	平成17年度	自治体(行政)			埼玉県が実施する「大学の開放授業講座(リカレント教育)」として、県内在住の55歳以上の方を対象に、生活の充実や社会参加のきっかけづくりとしていたたくことを目指して、経済学部夜間開放授業を実施している。
18	埼玉県立大学	子ども大学こしがや・まつぶし	平成22年度	自治体(行政)			地域の大学や市町村、企業・NPO、県が連携して、子ども(小学校4～6年生)の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供する。 小学4年生～6年生 40名 9月23日(土) 10:00～11:30 「びかびかの手!それってなあに?」看護学科 黒田真由美助教 11月25日(土) 10:00～11:30 「身近な川で暮らす生き物や、水の汚れについて知ろう」 共通教育科 小林憲生准教授、四ノ宮美保准教授
19	埼玉県立大学	りそなキッズマネーアカデミー	平成23年度	産業界(企業等)			埼玉りそな銀行との共催で、小学生を対象に、お金の流れや社会における銀行の役割などに関する講義や、保健・医療・福祉分野に関する講義・実技を内容とするセミナーを開催する。 小学3年生～4年生 19名 8月2日(水) 13:00～15:00(埼玉県立大学) 「『車いすにやさしい街』について考える」作業療法学科 松尾彰久講師
20	埼玉県立大学	越谷市シルバーカレッジ	平成17年度	自治体(行政)			生涯学習の一環として高齢者に学習の機会を提供する。越谷市在住の60歳以上の方150名 ・9月6日(水)「全身に張りめぐらされた血管」健康開発学科 廣渡祐史准教授 ・9月13日(水)「抗菌薬適正使用について」健康開発学科 村井美代准教授 ・9月20日(水)「冷え症の原因と対策について」健康開発学科 荒川恭子講師 ・9月27日(水)「喜怒哀楽の秘密～こころ穏やかに老いるための知恵～」 共通教育科 田中健一 准教授
21	埼玉県立大学	青少年夢のかけはし事業	平成23年度	自治体(行政)			埼玉県と連携し、青少年の夢発見と夢実現を支援するため、プロから学び体験する教室を開催する。 【埼玉県立大学コース】小学4年生～6年生 40名 ・9月23日(土) 13:30～15:30 「看護師を目指そう!」 看護学科 添田啓子教授、田村佳士枝講師、望月浩江助教
22	埼玉県立大学	埼玉県立大学&浦和レッズ “ハートフルコラボレーション”	平成25年度	産業界(企業等)			浦和レッズと連携し、サッカーを通じたスポーツの振興と地域住民の健康づくりのため、イベントを開催する。 「親子サッカー教室」小学校1年生～3年生とその保護者20組 11月11日(日)10:00～11:15 健康開発学科 佐藤雄二教授

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
23	跡見学園女子大学	跡見学園女子大学公開講座	昭和56年度	自治体(行政)			本学新座キャンパスでは、新座市教育委員会共催又は新座市教育委員会後援、及び埼玉県教育委員会後援、並びに「埼玉まなびいプロジェクト協賛事業」の一環として「教養コース」「パソコンコース」「語学コース(英語、中国語、朝鮮・韓国語)」「くずし字読解コース」を開講している。
24	跡見学園女子大学	新座市民総合大学	平成12年度	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)		新座市内にある3大学(十文字学園女子大学、立教大学、跡見学園女子大学)がそれぞれ講座を開講している。新座市内在住、もしくは在勤・在学の18歳以上の方が受講対象。
25	跡見学園女子大学	出張講義	平成14年度	幼保・小・中・高等学校等			学問への関心を喚起し、また進路選択の一助となることを目的として、本学教員が高校に出向き授業を行う出張講義を実施している。教員の幅広い専門分野を網羅する形で講義メニューを用意し、高校に案内している。
26	跡見学園女子大学	彩の国大学コンソーシアム公開講座	平成14年度	大学・短大(大学・短大間連携)			彩の国大学コンソーシアムは、埼玉県内にある17の大学が、連携して協力体制を築き、教育研究の高度化・進展化を図るとともに、生涯学習や産官学の地域交流を推進し、地域の教育・文化の発展を図ることを目的として設置されたもの。年に一度、各大学が協力をして公開講座を行っている。
27	跡見学園女子大学	彩の国大学コンソーシアム単位互換制度	平成14年度	大学・短大(大学・短大間連携)			埼玉県内にキャンパスのある大学が相互に協定を結び、「彩の国大学コンソーシアム単位互換制度」を発足させた。現在、加盟大学は10校で、それぞれ科目を定めて相互に学生を受け入れている。36単位を超えない範囲で、本学の卒業要件の単位として認定される。
28	跡見学園女子大学	インターンシップ	平成15年度	産業界(企業等)	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	講義科目で学ぶマネジメントに関する理論を、企業・団体や地方自治体等における就業体験を通してさらに発展させ、学生の学習の方向性を明確にするとともに、マネジメントの「マインドとスキル」習得により、実務能力を高めるきっかけとすることを目標としている。
29	浦和大学・浦和大学短期大学部	社会福祉法人浦和福祉会との連携	平成11年度	その他			社会福祉法人浦和福祉会 特別養護老人ホーム「スマイルハウス」と連携し、教育・研究面で様々な交流を生み、大学・施設双方に有意義な連携活動がなされている。
30	浦和大学・浦和大学短期大学部	「大崎むつみの里」就労支援	平成14年度	地域団体(NPO、ボランティア等)			知的障害者施設「大崎むつみの里」の就労移行支援及び就労継続支援に協力し、週2回の学内清掃作業を同施設に依頼している。本学が福祉の大学として就労支援に協力することは、本学学生、知的障害者双方に大変有意義なプロジェクトとなっている。
31	浦和大学・浦和大学短期大学部	「緑区区民祭り」への参加・協力	平成15年度	自治体(行政)			毎年、秋(10月)にさいたま市緑区主催「緑区区民まつり」が開催され、第1回から開催・運営の協力を行っている。今年度は、38名の学生が参加をし、地域の子どもたちに「遊び」を教授したり、高齢者の方々とステージにおいて介護予防体操を行い、参加される区民の皆さんの健康づくりや仲間・家族の交流促進に貢献している。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
32	浦和大学・浦和大学短期大学部	リレーフォーライフへの参加	平成19年度	地域団体 (NPO、ボランティア等)			公益財団法人日本対がん協会が推進するがん征圧を社会に訴える活動であるリレーフォーライフさいたまに本学福祉教育センターが窓口となり、学生を募り、3日間にわたり、がんに対する知識の普及と啓蒙活動に協力した。
33	浦和大学・浦和大学短期大学部	「イノセンスアート」授業における障がい児との交流	平成19年度	地域団体 (NPO、ボランティア等)			地域で児童ディサービスを実施しているNPO法人わんぱくクラブの障がい児約10名が各週で授業に参加しクリエイティブ活動を実施している。学生も支援の在り方を学び芸術性を高めている。
34	浦和大学・浦和大学短期大学部	親支援講座の開設	平成20年度	地域団体 (NPO、ボランティア等)			浦和大学と学術交流の協定を結ぶカナダを代表するライオン大学における家族支援プログラム「Nobody's Perfect(ノーバディーズ・パーフェクト)」講座を開講している。本学・こども学部カナダのファシリテーターの資格を有する教員がいることから、親子のひろば「ぽっけ」に参加している親の中から希望者を募り、受講できるようにしている。
35	浦和大学・浦和大学短期大学部	子育て・家族支援ファシリテーター養成講座	平成20年度	自治体(行政)	大学・短大 (大学・短大間連携)		平成20年度より子育て支援に携わるスタッフを対象とした講座をさいたま市こども未来局後援の下、本学と学術交流・提携に関して協定を締結するカナダで唯一家族支援を学べるライオン大学の理論と実践を生かした教材を使い、国際的な視野での学習を促進する講座を実施してきた。平成27年度より、広くさいたま市民の方々に子育てや家族を支援することに関心を持っていただける講座を開講している。
36	浦和大学・浦和大学短期大学部	大学によるリカレント教育(開放授業講座)	平成20年度	自治体(行政)			県内在住の高齢者や団塊の世代の方々に対し、授業科目の一部を受講できるよう開放している。
37	浦和大学・浦和大学短期大学部	さいたま市民大学への協力	平成23年度	自治体(行政)			さいたま市が生涯教育の一環として毎年運営する「さいたま市民大学」にほぼ毎年本学から優秀な講師陣を派遣し、市民大学の運営を支えている。
38	浦和大学・浦和大学短期大学部	さいたま市との協力関係	平成23年度	自治体(行政)			さいたま市内でこども学部を有する唯一の私立大学であることから、本学教員はさいたま市の保育園の巡回相談への協力、さいたま市の各種委員会における委員長・委員への就任、各種行事への学部への協力を行っている。イベント開催時等には学生が地域活動を通じて学ぶ機会となっている。
39	浦和大学・浦和大学短期大学部	「北浦和ふれあいまつり」への参加・協力	平成24年度	自治体(行政)	地域団体 (NPO、ボランティア等)		北浦和ふれあいまつり実行委員会からの要請により、11月6日(日)に開催された「北浦和ふれあいまつり」に学生を10名ほど参加をし、バルーンアートや昔遊び等の遊びの支援を行った。また、さいたま市のPRキャラクター「つなが竜ヌウ」やさいたま市の観光大使「浦和うなこちゃん」の着ぐるみに本学学生が入り、さいたま市のPRに貢献した。
40	浦和大学・浦和大学短期大学部	浦和大学公開講座	平成26年度	自治体(行政)			平成29年度は「音楽のレシピ」「子育て・家族支援ファシリテーター養成講座」を実施

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
41	浦和大学・浦和大学短期大学部	さいたま国際マラソンにおける運営および応援協力	平成27年度	自治体(行政)			さいたま国際マラソン組織委員会からの依頼を受け、57名の学生が市民ランナーへの給水ボランティア、沿道応援としてエイサーの披露と吹奏楽演奏の協力をした。併せて関係車両の駐車や待機場として駐車場の提供、ランナーや一般市民応援者へのトイレ貸出も行き、大会運営へ貢献をした。
42	浦和大学・浦和大学短期大学部	介護の学校 in 埼玉	平成28年度	その他	その他		地域の介護人材の育成するため、埼玉県介護福祉士会と埼玉県介護福祉士養成校連絡協議会が共催し、地域の人々、施設で介護職として既に働いている人々、高校・大学の生徒・学生を対象とする研修事業を行った。本学が開催校で、介護福祉科学科長が実行委員長となり、教員・学生が運営を担った。
43	浦和大学・浦和大学短期大学部	公開講座「地域の介護力を高める福祉機器」	平成28年度	産業界(企業等)	自治体(行政)		高齢化が世界的に進む中で、福祉機器が内外の企業によつて開発されている。これらの機器を活用することで地域の介護力を高めることができる。最新鋭の福祉機器を開発している企業に参加していただき、担当者から福祉機器を説明していただき、公開講座をさいたま市と、さいたま商工会議所の後援を頂いて実施した。
44	浦和大学・浦和大学短期大学部	健康体操教室	平成28年度	その他			本学の教員・学生が指導員及びアシスタントとなり、本学の体育市背うを使って、地域の高齢者約30名に健康維持と介護予防に役立つ運動を教えている。全12回。参加費無料。
45	浦和大学・浦和大学短期大学部	こども学部インターンシップ	平成29年度	産業界(企業等)			企業等における就労体験(インターンシップ)を通して、就職への意識を高めるとともに職場の現状や職業観を養う。本学学生は保育所や幼稚園、福祉施設への就労希望が多く、社会人としての基本姿勢やマナー、職場規律、上司や同僚等へのコミュニケーションを体得するのにインターンシップは有効であると考え。なお、実習先については、地元産業(企業等)を中心に依頼した。
46	浦和大学・浦和大学短期大学部	一日こども大学生	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等	幼保・小・中・高等学校等	幼保・小・中・高等学校等	地域の小学校1・2年生を対象とした夏休みの自由研究題材となる公開講座を実施。「自然編」「かず・形編」「音楽編」の3講座を開設。
47	浦和大学・浦和大学短期大学部	教育インターンシップ	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等	正規授業として、さいたま市・所沢市・深谷市教育委員会とインターンシップ覚書を締結し、学校教育学科1年生全員が、地域の学校の放課後活動支援に出向いている。
48	浦和大学・浦和大学短期大学部	イオンモール川口 2017 夏休み自由研究お助け隊	平成29年度	産業界(企業等)	幼保・小・中・高等学校等		地域企業(川口イオン)川口市川口イオンにおいて、地域の奨学生を対象にした夏休み自由研究の講座として「ちりめんじゃこの研究」講座を開設。
49	浦和大学・浦和大学短期大学部	子育て・家族支援ファシリテーター養成講座	平成29年度	自治体(行政)			さいたま市の子育て・家族支援の取り組みや、カナダ・ライオン大学との提携に基づく浦和大学の家族支援の取り組みの紹介をしながら、子育て・家族支援のファシリテーターの養成を行う講座を開設。
50	浦和大学・浦和大学短期大学部	音楽のレシピ	平成29年度	その他			さいたま市内在住・勤務者を対象に、大学において、専門家による発生方法・声の響き、声の響きと音楽の関係を実演と解説。100名参加。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
51	浦和大学・浦和大学短期大学部	放課後児童クラブを訪問	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			学生が「あいう園美園放課後児童クラブ・あいう園ひふみ放課後児童クラブ」を数回訪問した。
52	浦和大学・浦和大学短期大学部	第1回カワコレ「GOLD FASHION」	平成29年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			特定非営利活動法人「健康姿勢管理」の主催で、高齢者モデルさんによるファッションショーの実現を川口市内ショッピングモール・ララガーデン川口に於いて2部構成で開催しました。共催として、着物リメイク教室「繭の夢」と、本学こども学部こども学科4年船木ゼミの学生メンバーが参加した。
53	浦和大学・浦和大学短期大学部	「紙芝居 はじめの一步」	平成29年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			子どもに紙芝居を見せたい。そのためには「どうやって演じれば良いの？」「どんな紙芝居を選べばよいの？」という疑問に答えながら、乳幼児から小学生までを対象にした年齢別の紙芝居実演を体感し、その基本を楽しく学ぶワークショップを開催。
54	浦和大学・浦和大学短期大学部	公開講座「介護ロボット・福祉機器展-人にやさしい福祉機器の可能性-」	平成29年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		地域の介護力が低下し、施設では人手不足が年々深刻化しています。このような状況のなか、人にやさしい福祉機器が普及する可能性を社会に発信することは、福祉の人材を育成する本学の使命の一つです。さいたま市と、さいたま商工会議所の後援を頂いて、介護福祉と社会の技術や将来に関心を持っていらっしゃる地域の方々にご参加いただき、実施されました。
55	浦和大学・浦和大学短期大学部	介護の学校 in 埼玉	平成29年度	その他	その他		地域の介護人材の育成するため、埼玉県介護福祉士会と埼玉県介護福祉士養成校連絡協議会が共催し、地域の人々、施設で介護職として既に働いている人々、高校・大学の生徒・学生を対象とする研修事業を行った。本年度は会場を埼玉福祉保育専門学校とし、介護福祉科学科長を始め複数の教員が実行委員となり、当日は教員・学生が多く参加した。
56	浦和大学・浦和大学短期大学部	第3回浦和美園まつり&花火大会	平成29年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		第3回目を迎えるイベントにおいて、本学も縁日会場のなかで初めて出店をさせていただき、当日運営を行った。 本学の出店内容は、ポッチャ（パラリンピック公式種目）体験やフリスビーを使用したレクリエーション等の体験ブースとした。当日は雨天であったが、一日を通して多くの方に体験していただき、家族連れの方々に好評であった。午前11時から15時過ぎまでの間におよそ800名の方に来場いただいた。 来場者のなかには、本学ぽっけの利用者や卒業生もあり、地域の関わりとしては非常に有意義なイベントであった。
57	共栄大学	子ども大学かすかべ	平成29年度	自治体（行政）			子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供するため、ものごとの原理やしくみを追求する「はてな学」、地域を知り郷土を愛する心を育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の3分野について学習する。 本年度の実施内容は以下のとおり。 1日目《はてな学》「プログラミングでコミュニケーション」 2日目《はてな学・ふるさと学》「世界の仲間とコミュニケーション」 3日目《生き方学》「商売でコミュニケーション」、「学園祭でコミュニケーション」 4日目《はてな学・生き方学》「天気とコミュニケーション」

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
58	共栄大学	共栄大学公開講座	平成29年度	自治体(行政)			開かれた大学を実現するために、春日部市教育委員会と連携し、地域社会の文化の向上を資することを目的として、全3回開講する公開講座。 本年度の実施内容は以下のとおり。 1回目「ニューロサイエンスから観る、こどもの心と身体」 2回目「「見る」って楽しいー美術作品の鑑賞はむずかしくない！ー」 3回目「宝くじは購入するが、株式は購入しない日本人？」
59	埼玉医科大学	埼玉医科大学市民公開講座	平成17年度	自治体(行政)			身近な病気的话题を取り上げ、広く一般の方々を対象とした公開講座。埼玉まなびいプロジェクト協賛事業 【詳細】▲平成29年4月「大腸の病気」▲平成29年5月「皮膚の病気」▲平成29年6月「四季の感染症」▲平成29年7月「出生前診断と遺伝病」▲平成29年9月「がん治療を苦痛なく進める支持・緩和医療」▲平成29年10月「発達障害」▲平成29年11月「肝臓の病気」▲平成29年12月「すい臓の病気」▲平成30年1月「眼の病気」▲平成30年3月「肥満と糖尿病」
60	埼玉医科大学	地域医療連携懇話会	平成22年度	その他			地域の病院との情報交換の場で、隔月第3水曜日に定期的に開催している。
61	埼玉医科大学	ニーズマッチング in 埼玉医科大学	平成27年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		平成27年度から開始したニーズマッチング会の3回目を毛呂山にある大学病院で実施した。医療現場のニーズ36テーマを参加した40社に提案し、マッチングを開始した。
62	埼玉医科大学	毛呂山町との地域連携協定	平成24年度	自治体(行政)			・本学及び本学短期大学の3ポリシーを踏まえた各種取組みに対する外部評価実施 ・毛呂山町行政改革推進委員会委員として本学職員を派遣 ・毛呂山町総合公園プール跡地利用協議会委員として本学職員を派遣 ・毛呂山町内イベント(生涯学習事業「健康づくりプロジェクト in 毛呂山」等)に協力 ・メタボリックシンドローム改善効果判定事業への取組み 等
63	埼玉医科大学	大学間連携共同教育推進事業「彩の国大学連携による住民の暮らしを支える連携力の高い専門職育成」	平成24年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)		埼玉県立大学が開学以来構築してきた地域基盤型専門職連携教育(IPE; Interprofessional Education)を、埼玉医科大学、城西大学、日本工業大学と共に彩(さい)の国大学連携教育に応用発展させる。ステークホルダーである埼玉県内の病院や施設、各種団体等と協力して地域住民の質の高い暮らしの実現を目指し、彩の国大学連携科目を共同開発・共同開講して多職種連携による課題解決力(連携力)の高い人材育成を行う。
64	埼玉医科大学	大学間連携共同教育推進事業「彩の国大学連携による住民の暮らしを支える連携力の高い専門職育成」	平成24年度	大学・短大(大学・短大間連携)			埼玉県立大学が開学以来構築してきた地域基盤型専門職連携教育(IPE; Interprofessional Education)を、埼玉医科大学、城西大学、日本工業大学と共に彩(さい)の国大学連携教育に応用発展させる。ステークホルダーである埼玉県内の病院や施設、各種団体等と協力して地域住民の質の高い暮らしの実現を目指し、彩の国大学連携科目を共同開発・共同開講する。
65	埼玉医科大学	小中学校教育体験実習	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等			医学部1年生が毛呂山町立小中学校に半日2回訪問し、授業見学、交流経験を行い、短時間の保健指導を行っている。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
66	埼玉医科大学	オープンイノベーションセミナー & 個別商談会	平成29年度	産業界(企業等)			埼玉りそな銀行が主催したセミナーで、本学の国際医療センターの臨床現場ニーズを紹介した。
67	埼玉医科大学	さいしんビジネスフェア2017	平成27年度	産業界(企業等)			埼玉縣信用金庫が主催した展示会に出展し、大学の紹介や開発中の医療機器を来場した企業や一般の方に紹介した。
68	埼玉工業大学	心理セミナー		自治体(行政)			心理学科の教員によるセミナー(全6回)
69	埼玉工業大学	心理相談室		自治体(行政)			子育ての悩み、学校に関する悩み、人間関係などの悩みに関する相談。(予約制)
70	埼玉工業大学	ふかや市民大学	平成22年度	自治体(行政)			「ふかや市民大学」は、市民の生涯学習やボランティア活動への理解を深め、学習を通して人と人がつながり、そこでの学習成果をまちづくりに生かすことを目的として実施する。
71	埼玉工業大学	埼玉工業大学公開講座	平成12年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	産業界(企業等)	平成29年度8講座、参加者数のべ400名、内容①英語コミュニケーション講座(日常会話)、②バイオテクノロジー講座、③日英比較表現講座、④現代の物理学講座、⑤最先端ものづくり講座、⑥キッズ向け体験学習講座、⑦異文化体験講座、⑧キッズ向け体験学習講座
72	埼玉工業大学	埼玉県産業教育フェア		幼保・小・中・高等学校等			専門高校(農業・工業・商業・家庭・看護・福祉)の生徒を対象に大学の研究成果を展示する。平成29年11月11日～12日
73	埼玉工業大学	SAIKOフェア(SITフェアから名称変更)	平成19年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	おかベコスモス祭り、大学学園祭と連携し小学校、中学校、高校及び一般市民を対象に大学の研究成果や学生プロジェクトの活動状況を展示発表する。
74	埼玉工業大学	出前授業・模擬授業	平成18年度	幼保・小・中・高等学校等			中学校・高校を対象に大学の研究内容をわかりやすく解説する。
75	埼玉工業大学	子ども大学ふかや	平成22年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	大学・短大(大学・短大間連携)	①【入学式】・【はてな学】アニメはなぜ動いて見えるのか? ②【ふるさと学】工場見学 アイスcreamができるまでのひみつ ③【はてな学・生き方学】さとうの甘いわな、子どもでもできるよ! 赤ちゃんのかんご ④【はてな学】「Let's enjoy making!! みんなで、ウインドカーを作ろう!!」 ⑤【ふるさと学】体験しよう! ふるさとの食文化や地域の達人の技【学園祭】成果発表会を楽しもう! 【修了式】深谷市内の小学4年生から6年生を対象に50名参加
76	埼玉工業大学	科学と仏教思想センター公開セミナー	平成28年度	自治体(行政)			参加者数 20名 2017年秋の公開セミナー 日本仏教の瞑想(1)

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
77	埼玉工業大学	リカレント教育	平成20年度	自治体(行政)			生涯学習、地域や社会活動への参加のきっかけとして、県内在住の高齢者や団塊の世代の方々を対象に、本学で開講している授業科目の一部を開放する。
78	埼玉工業大学	学生プロジェクト		自治体(行政)	産業界(企業等)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	①「OKABE」光の回廊プロジェクト」ふかや市商工会青年部と協力しておかべ希望が岡公園にイルミネーションを設置。②「米と日本酒プロジェクト」農家の方と共同で埼玉ブランド米の「彩のかがやき」を作り、そのお米を使って深谷市内の酒造会社の協力を得て日本酒造りを行った。商品名『瞬喜道』③「集まれ科学実験プロジェクト」深谷市内、周辺市町村の小学校や公民館に赴き、科学実験教室を開催した。・スライム ・マイクロカプセル ・液体窒素の実験 ・ミラクルフルーツの不思議等
79	埼玉工業大学	彩の国ビジネスアリーナ(産学連携)	平成21年度	産業界(企業等)			1月24日(水)、25日(木)にさいたまスーパーアリーナ『マイクロ波液中プラズマによるナノ粒子製造ならびに表面修飾』出展。
80	埼玉工業大学	県民活動総合センター(けんかつ夏まつり)		自治体(行政)			けんかつ夏まつりにブース出展 平成29年8月19日(土) ・スマホでキャタピラ車を動かしてみよう!
81	埼玉工業大学	高大連携事業 大学見学		幼保・小・中・高等学校等			大学教育・高校教育の活性化を図るため、協定を締結した連携校の大学見学受け入れを行う。 平成29年度 寄居城北高、深谷高、秩父農工科学高、羽生第一高、熊谷工業高、伊勢崎工業高、高崎工業高、日々輝学園高
82	埼玉工業大学	高大連携事業 出前授業		幼保・小・中・高等学校等			本学で所有する知的資源を有効に活用するという趣旨で、本学専任教員が直接高等学校に出向き講義を行う。 平成29年度 三郷工業技術高、妻沼高、熊谷工高
83	埼玉工業大学	インターンシップ推進事業		幼保・小・中・高等学校等			埼玉県のインターンシップ推進事業の受入企業として、県内高校生のインターンシップ受け入れを行っている。 平成29年度 寄居城北高、熊谷工業高、高崎工業高、川越工業高
84	埼玉工業大学	先端科学研究所協力会 企業見学会		産業界(企業等)	自治体(行政)		本学の産学間連携の取組として、企業見学会を実施した。 参加者:43名(本学教職員、学生、企業、自治体) アイリスオーヤマ株式会社埼玉工場 5月26日(金)

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
85	埼玉工業大学	先端科学研究所協力会 講演会		産業界(企業等)	自治体(行政)		平成29年度 ①乗用四輪駆動車の誕生と発展 富士テクノサービス(株)顧問、埼玉工業大学特任 教授 大竹実氏 ②羽根の無い遠心攪拌装置の開発 ヤマテック(株)専務取締役、(株)エディプラス代表取締役 村田和久氏 ③フレキシブル面発光パネルで世界へはばたく (株)ワイ・エス・エム代表取締役 八島哲也氏 参加者は、本学教職員、学生、企業、自治体関係者等
86	埼玉工業大学	産学交流セミナー		自治体(行政)	産業界(企業等)		平成29年度 接ぎ木による作物の品種改良 原田竹雄氏(弘前大学 名誉教授 農学博士) 9月7日(木)15:00~17:00 参加者は、本学教職員、学生、企業、自治体関係者等
87	埼玉工業大学	地域連携事業(1)		自治体(行政)	産業界(企業等)		①金大星蔵びらき 4月16日(日)本学フレアバーテンディング部によるカクテル販売 米と日本酒~米作り、そして日本酒へ~プロジェクトのPR ②華の宿場まつり 5月14日(日)フカニャングッズ・フカニャンサンド販売 ③ふっかちやんバースデイぱーちいFUKAYA2017 6月24(土) ブース出展・フカニャングッズの販売
88	埼玉工業大学	地域連携事業(2)		自治体(行政)	産業界(企業等)		④深谷七夕まつり 7月7日(金)~9日(日)ブース出展、OKABE光の回廊プロジェクトのイルミネーション展示 ⑤深谷市産業祭 11月4日(土)・5日(日)研究室、クラブ、学生プロジェクト団体のブース出展 ⑥深谷えん旅 11月22日(水)深谷市内小学生向けのプログラミング教室 ⑦書初め練習会 12月24日(日)深谷市内小学生向け書初め練習会 ⑧深谷ネギまつり 平成29年1月28日(日)ブース出展、フカニャングッズ等販売
89	埼玉工業大学	深谷市チャリティウォーキング	平成26年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)		歩くことを通じて人々とふれあい、一人ひとりの健康を増進し、さらには参加費を寄附することによって地域社会へ貢献しようという趣旨の下、楽しく参加できるチャリティイベント。 本学・深谷市社会福祉協議会・日赤深谷市地区主催
90	埼玉工業大学	埼玉北部地域技術交流会		産業界(企業等)	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)	平成29年10月19日(木)「埼玉県北部地域中小企業ビジネス展示会・交流会」との同時開催。 埼玉県産業技術総合センター北部研究所主催

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
91	埼玉工業大学	農業としての農業を考えるセミナー		自治体(行政)	産業界(企業等)		平成29年11月20日(月) 今年度は地元深谷市が後援になり、全学科コラボ授業「働くことの科学と実践Ⅱ」の特別講義として開講。講義では農業で起業した男女各1名の講師を招いて体験談を聞き、農業を志す学生を増やすために講演を通して就業・起業について考える機会を提供することを目的として開催した。 主催:本学、関東農政局、後援:深谷市
92	芝浦工業大学	学生プロジェクト	平成18年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		・ICP 株式会社テルミとパティスリースプランディードと協力して、東大宮中央公園で開催された第21回東大宮サマーフェスティバルでブラジル料理を販売。(8月)
93	芝浦工業大学	第14回見沼区ロボット工作教室	平成16年度	幼保・小・中・高等学校等			工作教室は、子供たちにもものづくりの楽しさを知ってもらうことと、地域の方々との交流を目的としている。近隣小学校にチラシ配布、HPにて宣伝。
94	芝浦工業大学	芝浦工業大学キャンドルナイト	平成24年度	自治体(行政)			「100万人のキャンドルナイト」が元になっており、2011年度の東日本大震災を期に省エネやエコについて考える。地域交流として上尾市の原市団地実施している。
95	芝浦工業大学	東大宮キャンパスタウン構想プロジェクト	平成29年度	自治体(行政)			キャンパスタウン＝東大宮駅＝芝浦工業大学として活発な学生の街にしていくとともに、地元商店・地域自治体とも連携し活性化を進めている。
96	芝浦工業大学	見沼小学校「FACE TO FENCE」プロジェクト	平成24年度	幼保・小・中・高等学校等			地域の中にある境界(FENCE)に目を向け、周辺地域の調和と融合を図り、地域交流の活性化に結びつけるまちづくり。見沼小学校児童が作成した「お絵かきメッシュ」イベントで交流。
97	芝浦工業大学	さいたま市パーソナルモビリティ普及研究会	平成24年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		・さいたま市総合特区「次世代自動車・スマートエネルギー特区」の実現に向け、「さいたま市パーソナルモビリティ普及研究会」として連携 ・平成29年3月をもって発展的に解散したが、ジャイロ効果を用いた2輪車転倒防止システムの開発は、さいたま市からの補助を受けて研究開発中
98	芝浦工業大学	埼玉県彩の国ビジネスアリーナ/産学連携フェア	平成24年度	産業界(企業等)			本学シーズ・産学官連携活動を紹介し、県内企業様との技術相談・共同研究を推進 (平成29年度) 本学シーズ(農業・ロボット分野)、産学官連携活動、『地(知)の拠点整備事業』(大学COC事業)活動を紹介し、県内企業様との技術相談・共同研究を推進する

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
99	芝浦工業大学	地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)	平成25年度	自治体(行政)	産業界(企業等)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	地域連携を更に強化して、『まちづくり』と『ものづくり』に関する課題解決を及びその過程を通じた人材育成をおこなう(平成29年度) 地域志向科目を全学生が履修するカリキュラム改革を完成。平成25年度は7つであったCOCプロジェクトが18まで増え(県内活動12プロジェクト)、PBLをはじめとした教育・研究・社会貢献を発展。
100	芝浦工業大学	サテライトラボ上尾運営委員会	平成25年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	産業界(企業等)	自治体(行政)	・上尾市原市団地において、団地の再生、高齢者の健康づくりなどを総合的に実践 ・運営委員会を立ち上げ、自治会、看護専門学校、UR都市機構、上尾市など、協働のプラットフォームを形成
101	芝浦工業大学	大宮駅東口協議会/アーバンデザインセンター大宮	平成25年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	自治体(行政)	産業界(企業等)	・大宮駅東口においてまちづくりを考える地元住民、さいたま市に係わる協議会において、演習授業の発表、まちあるき、学生活動などの取り組みを継続的に実施(開始年度はCOC事業開始時の平成25年度としているが、実際はそれ以前から連携) (平成29年度) ・公民学の連携組織「アーバンデザインセンター大宮/UDCO」が設立し、連携して活動 ・まちあるき「熱中症リスク発見ツアー」、演習発表会、道路拡張用地を活用した社会実験への参加などを実施
102	芝浦工業大学	大宮産学官連携研究交流会・COC学生成果報告会	平成26年度	産業界(企業等)	自治体(行政)		(平成29年度) 本学の多様な研究と豊富な産学官連携の実績を活かし、「新しいものづくり」のヒントやノウハウなどのご提供を目的とした講演会・研究室公開イベント。また、学生自らによるプレゼンテーションを行うCOC学生成果報告会(第4回)を同時開催。 ※平成30年3月19日(月)実施予定
103	芝浦工業大学	さいたま市高度ものづくり人材育成支援事業	平成26年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		ものづくり企業の製品化を支援するために、プロトタイプング手法を活用した実践的人材育成プログラムを、地域企業の若手技術者に対して実施。 (平成29年度) 昨年度に続き、下記3テーマで活動を実施 ① IoT(Internet of Things)関連のシステム化技術 ② センサーやネットワークと連携したコンテキストウェア技術 ③ 生体現象解明と医療関連機器のものづくり応用技術
104	芝浦工業大学	埼玉県との連携授業	平成26年度	自治体(行政)			・土木工学科、環境システム学科において、埼玉県総合技術センターと連携し、県土整備部や都市整備部の職員による連携授業を実施(平成27年度6講座、平成28年度4講座、平成29年度も継続中)

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
105	芝浦工業大学	さいたまヨーロッパ野菜研究会	平成26年度	地域団体 (NPO、ボランティア、自治会等)	自治体(行政)		<ul style="list-style-type: none"> ・大消費地であるさいたま市と、過疎の生産地である石川県珠洲市の地域間連携 ・種苗会社や流通販売業との連携により中小規模農業活性化を支援 ・平成28年度は、栽培データの蓄積や分析、害虫対策での栽培支援など、ITを用いた農業支援システムを開発 ・平成29年度も連携継続中
106	芝浦工業大学	地域共創シンポジウム	平成27年度	自治体(行政)	産業界(企業等)	地域団体 (NPO、ボランティア、自治会等)	<p>(平成29年度)</p> <p>大学COC事業の全体イベント「大学とまちづくり・ものづくり2017」と称して、2017年10月31日、芝浦キャンパスにおいてシンポジウムを実施。ポスターセッション交流会に埼玉県「埼玉県先端産業創造プロジェクト」、さいたま市「イノベーションする都市 さいたま」のポスターを展示頂いた。</p>
107	芝浦工業大学	さいたま医療ものづくり都市構想	平成27年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		<p>(平成27年度)</p> <p>さいたま医療ものづくり懇話会に参画</p> <p>(平成28年度)</p> <p>第2期行動計画の策定に参画</p> <p>(平成29年度)</p> <p>推進委員会の立ち上げに向けて協力</p>
108	芝浦工業大学	みその都市デザイン協議会・みその都市デザインスタジオ	平成27年度	自治体(行政)	地域団体 (NPO、ボランティア、自治会等)		<ul style="list-style-type: none"> ・浦和美園駅周辺において都市デザイン方針の作成、都市デザインに取り組む上での連携の場となる協議会に、学識として参加 ・みそのアーバンデザインセンター(UDCMi)とも連携 ・研究室学生による都市デザインの提案を実施、平成28年度はスタジアムアクセス、仮設建築物を提案 (平成29年度) 提案の一つが、市事業・地元施工・設置協力による社会実験として実現(10/28浦和美園まつり・10/29～11/03公共空間活用社会実験「美園マチなかロビー」)
109	芝浦工業大学	機械系ものづくり実践教育	平成27年度	産業界(企業等)			<ul style="list-style-type: none"> ・機械系ものづくり産業地域である川口市の金属加工業と連携し、学生によるアイデアやシステムの提案と、企業の技術が連携して、プロトタイプを制作 ・平成26年度の成果「段差を乗り越える車椅子」、平成27年度の折りたたみ自転車は実用化に向けた第2段階へ。平成28年度は町工場と連携した、アイデアだけでものづくりができる支援システムを提案 (平成29年度) 超軽量自転車の開発を提案
110	芝浦工業大学	インバウンドビジネス創出の提案	平成27年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		<ul style="list-style-type: none"> ・さいたま市やJR東日本の協力を受けて、外国人観光客対応を検討するため、日本人と留学生の混成チームで検討。 ・平成27年度は「PhotoWalk」の提案、「観光支援アプリケーション」の開発などを実施、平成28年度はスマホアプリ「Pokémon GO」やコミュニティサイクルを利用した集客方法を提案 (平成29年度) コミュニティサイクルと共同した観光方法を提案

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
111	芝浦工業大学	ロボットを活用した生活コミュニケーション活性化技術の研究	平成27年度	自治体(行政)			・平成27年度はさいたま市の総合療育センターと連携し、自閉症児の療育へのロボット応用を検討。平成27年度は「対話ロボットを用いた自閉症障害児のコミュニケーション促進ツール開発」のプロトタイプを制作、平成28年度は「婚活」をテーマに非言語コミュニケーション能力向上支援システムに挑戦(平成29年度) ヒューマンマシンを用いたQoLの向上を研究
112	芝浦工業大学	埼玉県大学連携研究会	平成27年度	自治体(行政)	産業界(企業等)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	平成27年度は高齢化が進む上尾市のUR団地内に、住民のコミュニティ拠点や学外教育拠点として設置した、「サテライトラボ上尾」をはじめとするサービスラーニングによる地域連携事例を発表(平成29年度) 大学と企業の連携事例として、「芝浦工業大学におけるPBL(課題解決型授業)の取組～産学・地域連携PBLによる実学教育の実践について～」を発表
113	芝浦工業大学	課題解決型授業への課題提供	平成28年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		(平成29年度) ・昨年度に引き続き、埼玉県との連携的包括協定に基づき、埼玉県からも課題解決型授業への課題提供を頂いた(産学・地域連携PBL、グローバルPBL)
114	芝浦工業大学	埼玉県産学連携ネットワーク会議	平成29年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		(平成29年度) ・県内企業様を対象に研究シーズ紹介依頼があり、8/25:第1回(食ビジネス)、11/24:第2回(製造技術)および1/24&25:第3回(テーマ自由)にて、3件の研究シーズを紹介 ・県内企業様との技術相談・共同研究を推進する
115	芝浦工業大学	さいたま医療ものづくりフォーラム2018	平成29年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		(平成29年度) ・フォーラムにて、生命科学科(2名)の先生の研究シーズを紹介 ・県内企業様との技術相談・共同研究を推進する
116	芝浦工業大学	見沼区 空家活用研究	平成29年度	自治体(行政)			(平成29年度) ・空家活用研究のため、春岡地区と片柳地区の自治会連合会長に建物外観調査の協力を依頼
117	芝浦工業大学	大学による地域の課題解決・活性化支援事業補助金	平成29年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)		(平成29年度) ・「産学民連携による宮町一丁目の将来像検討支援」で採択を受けて事業実施中
118	芝浦工業大学	さいたま市民大学の講師	平成29年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		(平成29年度) ・山崎先生に平成30年6月16日(土)に「IoTと農業」を講義予定
119	芝浦工業大学	埼玉県少子政策事業(結婚支援事業)への提案	平成29年度	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)		(平成29年度) ・人間総合科学大学の協力を得て学生出合い事業実証実験実施

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
120	芝浦工業大学	志木市環境審議会 委員長 就任	平成29年度	自治体(行政)	大学・短大 (大学・短大 間連携)		(平成29年度) ・十文字学園女子大学から相談を受け、志木市環境推進課からの依頼を受けて増田先生が就任
121	芝浦工業大学	公開講座(オープンテクノカレッジ)	平成3年度	自治体(行政)	その他		<ul style="list-style-type: none"> ・「QOL(生活の質)向上講座～心もからだもバランス良く～」 (全3回、5月開催、32名参加) ・「よく分かるビタミン学～ビタミンを知って、健康増進！！～」 (全1回、6月開催、62名参加) ・「ここまでできているAI 人工知能！～データサイエンスが世界を変える？！～」 (全1回、11月開催、54名参加) ・「農業を変える！芝浦テクノロジー！！」 (全2回、12月開催、38名参加)
122	芝浦工業大学	公開講座(オープンテクノキッズ)	平成3年度	地域団体 (NPO、ボランティア、自治会等)	その他		<ul style="list-style-type: none"> ・「構造デザインを学んでみよう！～竹ひごをつかって学ぶ大空間～」 (全1回、7月開催、37名参加) ・「楽しい夏休み工作教室～大学生とつくるペットボトルロケット～」 (全1回、8月開催、28名参加) ・「女子サッカー講座～サッカー好きな女の子集まれ！～」 (全1回、10月開催、14名参加) ・「男子サッカー講座～大宮アルディージャのコーチに教わろう！～」 (全1回、11月開催、60名参加) ・「親子で見上げよう！満天の星空観察！！」 (全1回、1月開催、34名参加)
123	芝浦工業大学	子ども大学	平成24年度	地域団体 (NPO、ボランティア等)	その他		<ul style="list-style-type: none"> ・子ども大学SAITAMA入学式 (全1回、7月開催、170名参加) ・自分たちで創る明るい未来都市！～ダンボールシティの市長になろう～ (全1回、9月開催、30名参加) ・生命科学実験～大学の実験室で学んでみよう～ (全1回、10月開催、24名参加) ・21世紀の伊能忠敬になってみる！ ～地図づくりのプロたちから学ぶ3次元測量～ (全1回、11月開催、37名参加) ・「あげお子ども大学」 生活の中のコンクリート、その謎にせまる！～見て 触って 作ってみよう～ (全1回、12月開催、25名参加)
124	芝浦工業大学	ロボット操作体験コーナー	平成28年度	自治体(行政)	その他		彩の国いきいきフェスティバル出展 (10月22日、約250名体験)

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
125	芝浦工業大学	馬宮東小学校チャレンジスクール	平成27年度	地域団体 (NPO、ボランティア等)	その他		手作り飛行機教室～ゴム式プロペラ飛行機を作って飛ばそう！～ (全1回、2月開催、34名参加)
126	十文字学園女子大学	地域活動(ボランティア)Youth Volunteer部:(ユースボランティア部)	平成8年度	自治体(行政)			日本赤十字社東京支部学生奉仕団に加盟しており、そこを拠点として様々な活動を行っている。毎月1回障害者の方々と出かけたりレクリエーションをしたり、定期的にボランティア活動を行っている。
127	十文字学園女子大学	新座市内大学	平成9年度	自治体(行政)			市教育委員会と本学の主催及び後援により、公開講座を3講座開設。 【10/21(土)、11/4(土)、11/25(土)】
128	十文字学園女子大学	インターンシップ(大学)	平成11年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		官公庁、一般企業の業務に触れることで、仕事や社会を知り、将来の展望を考える機会をする。 実施期間:夏季休暇中(前期)または春季休暇中(後期)を中心に、5日間以上の実習について単位を付与する。 参加人数:109名
129	十文字学園女子大学	新座市民総合大学「食育推進学科」	平成12年度	自治体(行政)			新座市教育委員会主催。新座市内3大学(跡見学園女子大学、十文字学園女子大学、立教大学)が3学部3学科を開学し、新座市内在住もしくは在勤・在学の18歳以上を対象に講義を行う。 6月～12月 全16回。定員40名。 平成29年度より「子どもの読書応援学科」から「食育推進学科」に学科を変更。
130	十文字学園女子大学	彩の国大学コンソーシアム単位互換制度	平成14年度	大学・短大 (大学・短大間連携)			参加大学で開講されている科目を参加大学に所属する学生に開放し、一定の条件を満たせば、「単位認定」を行う。 費用:(受け入れ大学一校あたり)登録料2,000円 受け入れ:1名、送り出し:1名
131	十文字学園女子大学	彩の国大学コンソーシアム公開講座	平成14年度	大学・短大 (大学・短大間連携)			生涯学習、地域社会への貢献を目的として、彩の国大学コンソーシアム参加18大学が公開講座を実施。今年度のテーマは「さいたま遊学 2014 ～知的、快適生活のすすめ～」 9/6(水)13:40～15:00 「障害者差別解消法を読む-障がいがあることは、不幸なことなのか-」人間生活学部 人間福祉学科 教授 片居木 英人 ウェスタ川越 46名
132	十文字学園女子大学	リカレント教育	平成20年度	自治体(行政)			埼玉県内や近隣の大学と協力し、団塊世代や高齢者の方々を対象に、大学の授業を開放する。 前期:25名、後期:29名

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
133	十文字学園女子大学	赤い羽根共同募金	平成21年度	自治体(行政)			新座市社会福祉協議会の依頼を受けて学内及び該当募金活動を行う。 10月2日(月)～10月16日(月)に学内募金箱の設置 10月3(火)・4日(水)に新座駅前での本学学生による街頭募金活動 (募金活動合計)36,152円
134	十文字学園女子大学	彩の国いきがい大学人間学園「若い世代との交流」	平成22年度	自治体(行政)			高齢者の学習の場として開校。社会の変化に対応できる能力を身につけ、社会参加による生きがいを高め、卒業後は地域活動のリーダーとして活躍することを目的とする。 【平成25年】11月20日(火)10:40～16:10 受講生数86名 【平成26年】今年度は本学にて開催せず。 【平成27年】今年度は本学にて開催せず。 【平成28年】今年度は本学にて開催せず。 【平成29年】今年度は本学にて開催せず。
135	十文字学園女子大学	子ども大学にいざ	平成22年度	自治体(行政)			主催:十文字学園女子大学・新座市教育委員会 企画・運営:子ども大学にいざ実行委員会(新座市教育委員会・雑木の会・十文字学園女子大学) 対象は小学校4年生～6年生。全3回の講座を行い、参加者には修了証を発行。 全3回(8/19、9/2、9/9)。定員40名
136	十文字学園女子大学	埼玉まなびいプロジェクト協賛事業 公開講座	平成22年度	自治体(行政)			埼玉県で学ぶ喜びとふれあいの輪を県内各地に広めるため、平成22年度より「埼玉まなびいプロジェクト」を実施されている。 本学では公開講座のいくつかを埼玉まなびいプロジェクト協賛事業として実施している。 8/9(水)10:00～12:00 子ども向け講座「新聞と友達になろう～新聞スクラップにチャレンジ～」21名
137	十文字学園女子大学	ふるさと支援隊	平成22年度	自治体(行政)			埼玉県内の中山間地域の多くの集落における、高齢化や過疎化の進行による、農林業や地域活動の維持困難地域に対して、大学生による「ふるさと支援隊」を組織し、若い感性や専門知識を活かして中山間地域に活力をもたらす支援をする。今年度は神川町阿久原地区、小川町上・下古寺地区、秩父市旧吉田町の3地区において活動。
138	十文字学園女子大学	彩の国ロードサポート	平成24年度	自治体(行政)			彩の国ロードサポート団体「ゾウキリンくらぶ」による。ボランティアで清掃美化活動を行う住民団体等を道路のサポート団体として認定し、快適で美しい道路環境づくりを推進する。担当区域:川越街道・恵山通り
139	十文字学園女子大学	緑の募金	平成25年度	自治体(行政)			公益社団法人埼玉県緑化推進委員会の依頼を受けて学内及び該当募金活動を行う。 平成29年4月15日から5月30日、10月2日から10月31日の年2回、学内に募金箱を設置。 (募金活動合計)1,774円

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
140	十文字学園女子大学	新座ひまわりプロジェクト	平成25年度	自治体(行政)			大震災により福島県のNPO「シャローム」のひまわり油精製事業が運営困難となった。これを支援するため、ひまわり栽培の里親として栽培し、種を送るという復興支援活動。販売で得た資金は福島県内の子供達の保養プログラムに利用される。
141	十文字学園女子大学	女性のためのエンパワメント講座	平成24年度	自治体(行政)			平成25年度男女共同参画推進プラザ事業・女性のためのエンパワメント講座は、女性が社会で活躍するために、仕事等に必要なエクセルの技術を身に付け、MOS検定試験に合格できるまでに実力を高めることを目的としている。
142	十文字学園女子大学	子ども大学しき	平成26年度	自治体(行政)			主催:志木市教育委員会・朝霞青年会議所・十文字学園女子大学 企画・運営:子ども大学しき実行委員会(志木市教育委員会・朝霞青年会議所・十文字学園女子大学) 対象は小学校4年生～6年生。全4回の講座を行い、参加者には修了証を発行。全3回(7/8、8/5、9/16、)。定員30名
143	淑徳大学	リカレント教育(開放授業講座)	平成19年度	自治体(行政)			県内在住の高齢者や団塊の世代の方に対し、授業科目の一部を受講できるように開放している。
144	淑徳大学	文京学院大学・淑徳大学共催公開講座	平成14年度	大学・短大(大学・短大間連携)			両大学は知的資源、人的資源ならびに施設面において協力、交流し、地元社会において公開講座を共同で開催することにより、市民にとって価値の高い修学の機会を提供することを目的としている。 (平成29年度内容)実施期間 10月7、14日(土) テーマ Discover Nature in Japan 日本人なら外に出よう!～自然を愛でる旅～
145	淑徳大学	淑徳大学/みよしコミュニティカレッジ	平成15年度	自治体(行政)			大学の人材及び施設等を活用した学習機会を提供し生涯学習の推進を図るため、三芳町生涯学習事業として、本学教員が講師となり毎年開催している (平成29年度内容) 1.旅の物語(11月8日、15日開催) 2.親子で遊ぼう★わくわくクリスマス(12月2日開催) 3.高齢者のためのスマホ講座(H30.1月27日開催) 4.明治・大正・昭和初期の国民統合および戦争をめぐる流行歌から当時の世相を読み取る(H30.3月6日、13日開催)
146	淑徳大学	子ども大学ふじみ	平成24年度	自治体(行政)	産業界(企業等)	大学・短大(大学・短大間連携)	地域の大学や市民活動団体等との連携のもとに、その教育資源を活用しながら、子どもの学ぶ力や生きる力をはぐくみ、向上させることを目的としている。 (平成29年度内容) 実施期間 6月～9月 実施回数 7回 対象 富士見市内在住の小学4～6年生(60名)

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
147	淑徳大学	子どもスポーツ大学ふじみ	平成25年度	自治体(行政)	産業界(企業等)	大学・短大(大学・短大間連携)	地域の大学や市民活動団体等との連携のもとに、色々なスポーツ分野で活躍している選手と一緒に学校では体験しないスポーツを経験することを目的としている。 (平成29年度内容)実施期間 6月～9月 実施回数 7回 対象 富士見市在住の小学4～6年生(30名)
148	淑徳大学	子ども大学みよし	平成25年度	自治体(行政)	産業界(企業等)	大学・短大(大学・短大間連携)	地域の大学や市民活動団体等との連携のもとに、その教育資源を活用しながら、子どもの学ぶ力や生きる力をはぐくみ、向上させることを目的としている。 (平成29年度内容)実施期間 6月～11月、実施回数 5回、対象 三芳町在住の小学4～6年生(40名)
149	淑徳大学	所沢市大学連携共催セミナー	平成22年度	自治体(行政)			所沢市教育委員会と近隣大学の連携により、専門的かつ学術的な知識を学ぶ機会を提供し、市民の高度化、多様化する学習に応えるため開催している。 (平成29年度内容)実施時期 H30.2月19日、26日(月) 実施回数 2回
150	淑徳大学	夏休み宿題教室	平成25年度	地域団体(NPO、ボランティア等)			学生が地域の青少年育成団体から要請を受け、夏休みの小学生の宿題支援に行く。 (平成29年度内容)実施期間 8月 実施回数4回 参加学生延べ40名 対象 富士見市の小学生対象(60名)
151	淑徳大学	インターンシップ	平成10年度	地域団体(NPO、ボランティア等)	産業界(企業等)	自治体(行政)	在学中の就業体験を通じて社会や企業・団体を知るだけでなく、自分の適性や働くことの意味を理解する機会であり、自分探しや就職活動に生かしている。
152	淑徳大学	西みずほ台商店会との協働事業	平成26年度	地域団体(NPO、ボランティア等)			西みずほ台商店会への学生派遣や商店会マップ作り、みずほ台祭りにアドバイザー的存在として関わり、地域活性化を図る。
153	淑徳大学	鶴瀬西口商店会との協働事業	平成26年度	地域団体(NPO、ボランティア)			教員と学生が「鶴瀬よさこい祭り」の実行委員会委員となり、祭りの運営に関わっている。
154	淑徳大学	認知症サポーター養成講座	平成28年度	自治体(行政)			厚生労働省が「認知症を知り地域を作るキャンペーン」の一環である「認知症サポーター100万人キャラバン」として推進しており、認知症サポーター養成講座を修了した方は、「埼玉県認知症サポーター証」が付与される。 平成30年1月19日(金)実施
155	淑徳大学	道の駅あしがくぼとの協働事業	平成26年度	産業界(企業等)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	自治体(行政)	埼玉県秩父郡芦ヶ久保の「道の駅あしがくぼ」と連携して道の駅の価値創造、集客イベント等を学生達が考案する。学生が自ら考え行動する実践学習の一環であり、平成29年度は道の駅を会場に休日(土・日)の物品販促イベントの開催に向け取り組んでいる。
156	城西大学	子ども大学にしいるま	平成24年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア)	大学・短大(大学・短大間連携)	子どもの学ぶ力や生きる力をはぐくみ、地域で地域の子どもの育てるしくみをつくる。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
157	城西大学	埼玉県とのリカレント教育	平成19年度	自治体(行政)			県と大学が協力して、県内在住者の高齢者や団塊の世代の方々に対し、授業科目の一部を受講できるよう開放する。
158	城西大学	坂戸市との連携協力	平成20年度	自治体(行政)			連携協力のもと、互いに協働し、活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展、そのための人材育成に寄与する。
159	城西大学	公開講座	昭和57年度	自治体(行政)			教育研究の成果を広く地域に開放し、高度化、多様化する地域住民の学習意欲と地域社会のニーズに応えるために公開講座を開講します。
160	城西大学	インターンシップ		地域団体(NPO、ボランティア)	産業界(企業等)	自治体(行政)	自治体や企業のほか学校での授業補助のチューテントインターンシップも実施。
161	城西大学	高麗川プロジェクト	平成24年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)		人間教育、国際教育、地域連携をキーワードとする活動を推進する重要なプログラムとして「高麗川プロジェクト」を策定しました。このプロジェクトは、学生のアイデアに基づく高麗川に関わる自主的な活動を、これまでの活動と合わせて、「高麗川プロジェクト」と位置づけて支援し、それらをつなげることで、学生と地域の方々、教職員が一体となり、高麗川をふるさとの川として誇りに思い、この地域に世代を超えて伝わる自然環境の再生活動やエコ活動への関心を高め、地域の活性化につなげることを目指したものです。
162	城西大学	坂戸市住宅団地にぎわい再生事業	平成26年度	自治体(行政)	産業界(企業等)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	大学の授業、課外活動その他周辺地域と連携した活動を地域住民と協働して行う。様々な取り組みを通じて、地域住民及び学生等が自由に活動できる場を提供する。
163	城西大学	埼玉県川の国応援団	平成29年度	自治体(行政)			「川の国埼玉」の実現に向けた県民による川の再生活動
164	城西大学	彩の国ネットワーク	平成29年度	自治体(行政)	産業界(企業等)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	「テロを許さない街づくり」の確立に向け官民一体となった効果的なテロ対策の推進
165	尚美学園大学	大学によるリカレント教育(開放授業講座)	平成22年度	自治体(行政)			埼玉県と県内大学が協力して、県内在住の高齢者や団塊の世代の方々に対し、授業科目の一部を受講できるように開放。
166	尚美学園大学	彩の国大学コンソーシアム単位互換制度	平成14年度	大学・短大(大学・短大間連携)			「彩の国大学コンソーシアム」加盟大学間における単位互換。
167	尚美学園大学	NPO法人子ども大学かわごえ	平成22年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			講師派遣及び施設貸し出し

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
168	尚美学園大学	川越大学間連携講座	平成24年度	自治体(行政)			川越市との連携講座。 川越市民対象の公開講座で、毎年1講座実施している。
169	尚美学園大学	彩の国大学コンソーシアム協定による職員研修	平成19年度	大学・短大(大学・短大間連携)			「彩の国大学コンソーシアム」加盟大学職員対象にセミナーを開催。
170	尚美学園大学	里山讃歌音楽祭	平成24年度	幼保・小・中・高等学校等	地域団体(NPO、ボランティア)		川越総合高等学校との連携協定に基づき、「里山」をテーマにした音楽祭を開催。
171	尚美学園大学	川越市スクールインターシップ	平成27年度	自治体(行政)			川越市教育委員会と川越市内近郊の大学が連携し、川越市内小・中学校を対象に教職課程に在籍する大学生を学校に派遣し、学習指導の支援や部活動支援を通して、児童生徒の学力及び体力の向上を図るとともに、これからの学校教育を担う情熱をもった教師の育成を目指す。
172	女子栄養大学	全国健康保険協会 埼玉支部との「埼玉県民の健康づくりの推進に向けた包括的連携に関する協定」の締結	平成29年度	産業界(企業等)			同支部実施のメタボリスクを抱えた加入者への特定保健指導の中で、生活改善に重要な食事指導に活用できる「健康メニューレシピカード」を本学と連携して制作。
173	女子栄養大学	ふじみ野市と包括的連携に関する協定を締結	平成29年度	自治体(行政)			相互に連携・協力し、健康増進に関する取り組みを進めていく。
174	女子栄養大学	埼玉縣信用金庫主催「ものづくり体験教室」への講師派遣	平成29年度	産業界(企業等)			平成28年7月に「産学連携包括協力に関する協定」を締結した埼玉縣信用金庫主催「さいしん夏休みキッズスクール マジパン細工」へ本学教員が出講。当日は25名の子ども達が参加、1時間45分で2種(「犬」「ライオン」)のマジパン細工に挑戦した。
175	女子栄養大学	埼玉県立深谷第一高等学校と高大連携教育協定を締結	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			部活動における食生活を見直した体力作り、生徒の資質向上を目的し、取り組みを進めていく。
176	女子栄養大学	武蔵越生高等学校と高大連携教育協定を締結	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			部活動の栄養サポート
177	女子栄養大学	埼玉県立深谷高等学校と高大連携教育協定を締結	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			部活動の栄養サポート
178	女子栄養大学	日高市、株式会社かにやとの連携により焼菓子の開発	平成29年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		日高市産の栗のブランド力を強化し、知名度、生産者の意識向上を目的とし、日高市、株式会社かにや(本社:狭山市)と本学との産学官連携により、日高市特産高麗川マロンを使用したテリーヌ「栗匠 高麗川ブラウン」と「栗匠 栗饅頭」を開発。
179	女子栄養大学	毛呂山町、株式会社かにやとの連携により桂木ゆずを使用した商品の開発	平成29年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		毛呂山町との連携事業として、同町特産桂木ゆずを使用し株式会社かにや(本社:狭山市)と本学において商品開発に協力し、お菓子「桂木の真珠」が完成。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
180	女子栄養大学	三芳町と包括的連携に関する協定を締結	平成29年度	自治体(行政)			「みよし野菜」のブランド化、地域農産物を活用した連携事業や食と健康、教育に関する人的支援の実施。同町特産「さつま芋」500本を提供頂き学生へ無料配布した。
181	女子栄養大学	連携校「埼玉県農業大学校祭」へ出展	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			埼玉県農業大学校祭へ本学ブースを出展し、本学内にある洋菓子製造直売店の商品販売や家庭料理技能検定等、学園のPRを実施。
182	女子栄養大学	「はとやま祭」に参加	平成29年度	自治体(行政)			鳩山町との連携事業として、同町主催「第38回はとやま祭」に参加、同町産の大豆を使用したお菓子「鳩豆パウンドケーキ」「きな粉パンナコッタ」「黒豆パンナコッタ」「おしゃもじばあちゃんの煮豆」の4品の試食配布を行った。
183	女子栄養大学	コープデリ生活協同組合連合会主催「コープみらいフェスタ in スーパーアリーナ」にブース出展	平成29年度	産業界(企業等)			コープデリ生活協同組合連合会との連携事業として、ブース出展。本学菓子工房プラントンの焼き菓子や葉酸クッキー等の販売、家庭料理技能検定のPR、本学出版部による書籍販売や食と健康の情報提供等、広く学園をPRした。
184	女子栄養大学	川越総合卸売市場株式会社主催「川越市場まつり」にブース出展	平成29年度	産業界(企業等)			川越総合卸売市場株式会社との連携事業として、ブース出展。本学菓子工房プラントンの焼き菓子や葉酸クッキー等の販売、家庭料理技能検定のPRとして料検5・4級問題チャレンジを行い、広く学園をPRした。
185	女子栄養大学	「農業教育連携校 学習発表会」開催	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			埼玉県内の農業分野を有する9高校と埼玉県農業大学校、本学の11校の連携事業として約60名の生徒・教職員・保護者参加のもと本学にて開催。各校紹介のパネル展示と口頭発表(高校6校、大学校、本学)を行い、また本学教員による特別講演も実施した。
186	女子栄養大学	働き盛り世代向けスポーツ栄養食メニュー等の開発等業務	平成29年度	自治体(行政)			埼玉県との連携活動の一環であり、「マラソン大会直前一週間メニュー」「サッカー部員のための『アスリート食』メニュー」に続くものとして、学生も関わり、メニュー開発等を行っている。
187	駿河台大学	彩・ふるさと喜樂学	平成15年度	自治体(行政)			地域の「知の核」として、地域社会の発展に貢献するため、生涯学習の機会を提供している。本講座は、地元の飯能市をより深く知るための地域学の講座「飯能学」としてスタートし、その後、対象を埼玉県西部(所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市)に広げた。毎年様々なテーマを取り上げ、本学教員に加えて、近隣市の教育委員会の協力のもと地域のことをお話できる方や地域で活躍している識者・専門家の方などに講師をお願いしている。前期7回、後期7回。
188	駿河台大学	市民の大学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	平成10年度	自治体(行政)			本学教員や各分野の識者・専門家を講師に迎え、毎年4テーマをそれぞれ4回連続の講座で取り上げている。毎年1テーマは、飯能市教育委員会から推薦された講師で講座を展開している。16回。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
189	駿河台大学	森林環境プロジェクト(「駿大の森」百年協定に基づく飯能活性化)	平成18年度	自治体(行政)			飯能市と森林環境プロジェクトの実施に関する協定を平成18年度に締結した。今後100年間を目途として、市と大学が市有林における森林育成活動を通して、森林の維持・保全、森林文化の理解・振興、地域活性化を実現することを目的としている。市は大学に対して市有林を無償で利用に供するほか、必要な支援を行っており、大学は無償供与を受ける市有林の一部を「駿大の森」と称し、ここでは森林育成作業の体験学習や、農山村地域の生活と文化に関するフィールド学習などを実施する。 また、大学は、敷地内の「駿大の里山」において、市内の小、中学校の児童、生徒を受入れ、飯能市学習林活用教育推進事業に協力している。
190	駿河台大学	学生参加による〈まち〉活性化プロジェクト	平成18年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		近隣地域を中心に商店街、企業団体等の地域活動を学生が体験学習し、コミュニケーション能力や社会性、現実的な職業観を涵養するとともに、地域社会の重要性を認識し、大学として地域の活性化及び共生を目指す。 今年度実施したプログラムは、「地域IT化サポート(初心者パソコン講座開催)」「FM茶笛番組制作」「市街地活性化」「まちおこしイベント」「子どもボランティア」「小学生の通学合宿サポート」「Jリーグサポートスタッフ」「入間川環境保全活動」「地域教育支援」「留学生による外国語しゃべり場」など。 「入間川環境保全活動」は、良好な河川環境の保全に貢献したとして埼玉県知事から表彰された。
191	駿河台大学	地域インターンシップ	平成15年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		近隣自治体・商工団体・企業等にインターンシップ実習の受入を依頼し、協定を締結したうえで、5日間から2週間ほど受け入れていただいている。学生は、実習にあたって、事前研修を行い、実習後、報告会で実習の成果を発表する。最終的には、インターンシップⅠという科目名で単位が認定される。 平成29年度の地域インターンシップ実績は、地域の企業、自治体の協力の下に、43企業・団体(5自治体含む)に78名の学生を受け入れていただいた。
192	駿河台大学	飯能信用金庫との産学連携事業	平成19年度	産業界(企業等)			地域企業である飯能信用金庫と地域における産学連携活動を推進するため相互に協力している。地域社会の発展に貢献することを目的としており、事業内容としては、以下の事業について提携・協力を行っている。 (1) 地域の経済及び企業経営に関する調査・研究 (2) 地域振興活動推進への助言・指導 (3) 地域企業へのインターンシップの促進 (4) 大学における金融教育の促進 (5) 地域教育機関における金融教育方法の共同研究 (6) その他産学連携活動に寄与する事項の推進 今年度の主な実績は「輝け！飯能プランニングコンテスト」の開催、「地域活性化講演会」の開催など。
193	駿河台大学	市民のための無料法律相談(飯能市、入間市)	平成6年度	自治体(行政)			飯能市および入間市の市民相談への貢献および本学学生に対する法学実地教育の機会として、両市との共同開催による市民のための無料法律相談を行っている。平成17年度には飯能市と、平成18年度には入間市と、それぞれ法律相談に係る協定も結んでいる。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
194	駿河台大学	子ども大学はんのう	平成26年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)	産業界(企業等)	飯能商工会議所・飯能市教育委員会・飯能信用金庫と実行委員会を組織し、小学生が学校では学ぶことができないことを大学の教員や地域の専門家などが5日間にわたり授業を行う。 平成29年度は、50人の小学生が参加した。
195	駿河台大学	飯能市コーディネーショントレーニング推進協議会	平成26年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)		飯能市、飯能市体育協会と連携し、コーディネーショントレーニングの普及に関する活動を行うことにより、飯能市民の健康づくりと運動能力の向上及びコーディネーショントレーニングによるまちづくりに寄与することを目的に、協議会を設立した。 現在、中・長期目標を掲げ、取組を実施している。
196	駿河台大学	中山間「ふるさと支援隊」	平成26年度	地域団体(NPO、ボランティア等)			飯能市上名栗の古民家を借用し、ここを拠点に埼玉県への委託事業である中山間「ふるさと支援隊」を実施している。 地域住民の支援のもと、学生が地域の行事に協力するほか、再生した古民家で市内の小学生を対象にエコツアーを実施するなど、学生の持つ「若い感性や専門知識」を活かし、山間地域に活力をもたらす活動を展開している。
197	駿河台大学	ワクワクフェスタ	平成26年度	自治体(行政)			親子や大人と子どもの交流を深め、子育てが楽しくワクワクすることを実感してもらうことを目的に、飯能市と連携し、本学を会場に「親子でコーディネーショントレーニング体験」、「自分の家を探そう!」、「芝生で遊ぼう」の3つのプログラムを実施。本学教職員及び学生が指導者となり、今年度は80組250人の親子が参加した。
198	駿河台大学	夏休み親子映画会	平成2年度	自治体(行政)			毎年8月に開催している。近隣市だけではなく都内からも多数の幼児や小学生が本学キャンパスに訪れ、映画やキャンパスを楽しんでいる。保育園や学童などの団体での参加も多く、今年度は約800名が来場した。
199	駿河台大学	彩の国いきがい大学	平成26年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			公益財団法人いきいき埼玉「彩の国いきがい大学」と連携して、本学のキャンパスにて、本学学生と生きがい大学の学生による世代間交流授業「若い世代との交流」を実施している。
200	駿河台大学	公共施設マネジメントシンポジウム	平成29年度	自治体(行政)			飯能市及び入間市と本学の3研究所との合同で公共施設マネジメントの必要性を認識し、取組の方向性を理解してもらうためのシンポジウムを開催した。
201	駿河台大学	Tボール体験教室	平成29年度	自治体(行政)			本学硬式野球部が、飯能市の協力により、近隣市在住の小学生対象にTボール体験教室を実施した。
202	聖学院大学	さいたま北商工協同組合との連携		産業界(企業等)			さいたま北商工協同組合に大学として会員加入。「さいたまKI-TAまつり」など地域活性化活動に学生が運営ボランティアとして参加。その他、組合会員企業とインターンシップの促進に関する覚書や、組合が管理する宮原駅近隣のコミュニティカフェ施設使用に関する覚書を交わし、連携を図っている。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
203	聖学院大学	上尾シラコバト住宅に関する協定に基く連携		自治体(行政)			県と締結した「特別県営上尾シラコバト住宅の共助による活性化促進に係る連携協定」に基づき、9名超の学生が入居し、団地活性化の取組を実施。また、学生が入居したことにより「しらこぼと夏祭り」が再開され、留学生を含む入居学生が運営などに参加。
204	聖学院大学	子ども大学あげお・いな・おけがわ		自治体(行政)			埼玉県教育局、上尾市教育委員会、桶川市教育委員会、伊奈町教育委員会、日本薬科大学と本学で組織された子ども大学あげお・いな・おけがわ実行委員会の主催で実施している。小学校4～6年生までの違う学校・学年の子どもたちが大学のキャンパスで学ぶ子供のための大学で、教員が本学の特色を生かした学びの機会を提供している。
205	聖学院大学	大谷地区自主防災啓発事業	平成27年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)		上尾市大谷支所、大谷地区自主防災組織連合会と連携し年に1回情報交換も兼ねた防災講座を実施している。
206	聖学院大学	アップー応援隊		地域団体(NPO、ボランティア等)	自治体(行政)		こども心理学科の学生が中心となり、上尾市のマスコットキャラ「アップー」を上尾市内の保育所・幼稚園の子どもたちに親しんでもらう訪問活動を実施。
207	聖学院大学	ぐるぐる上尾シティ	平成29年度	自治体(行政)			政治経済学科のゼミの授業の一環として、上尾市商工課と連携し、上尾市の魅力を留学生と日本人学生が協力して国内外に発信することを目的として活動している。
208	聖学院大学	大学コンソーシアムさいたま		大学・短大(大学・短大間連携)			本学を含む県内12大学が加盟し、教育及び研究分野における連携に関することや民産学官との連携及び交流の促進に関する取り組みを行っている。
209	西武文理大学	彩の国大学コンソーシアム公開講座	平成14年度	大学・短大(大学・短大間連携)			埼玉県西部に所在する彩の国大学コンソーシアムにおいて、生涯学習および地域社会への貢献を目的として平成14年から加盟大学が共同で公開講座を実施している。 平成29年度 本学の公開講座概要 講師:看護学部 准教授 大宮裕子 テーマ:「生活不活発病を改善するうつ伏せ姿勢のすすめ」
210	西武文理大学	さやま市民大学	平成22年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)		狭山市と市民団体が開設した「さやま市民大学」の「健康福祉コース／西武文理大学連携 健康づくり・介護予防サポーター講座」について、カリキュラムの監修を本学サービス経営学部教員が担当している。また、本学サービス経営学部および看護学部の教員が講師として「健康づくり・介護予防の基礎論」「アクティブティケア」等の講師を務め、講座の実施に協力している。
211	西武文理大学	埼玉県西部地域企業合同説明会	平成19年度	産業界(企業等)	大学・短大(大学・短大間連携)		県西部所在の大学等で構成する「埼玉県西部地域雇用促進協議会」主催の下、県西部地域企業の雇用確保と地域大学生の就職を促進し、さらなる地域産業と地域教育の発展に寄与することを目的とし、自治体、中小企業同友会、商工会、青年会議所など諸団体の後援を得て、春と秋の年2回開催している。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
212	西武文理大学	狭山市柏原地区老人クラブ連 合会「健康ひろば」参加協力	平成21年度	地域団体 (NPO、ボ ランティア 等)			狭山市柏原地区老人クラブ連合会「健康ひろば」に本学看護学部の教員と学生が参加し地域に在住する高齢者と交流を図るとともに、健康講話や血圧測定等を実施し健康促進活動のサポートを行っている。
213	西武文理大学	ヒューマンサービスセンター	平成24年度	産業界(企 業等)	自治体(行 政)	地域団体 (NPO、ボ ランティア 等)	学内に設置した「ヒューマンサービスセンター」において、学生のボランティア活動の促進や地域の事業者の方や自治体と連携したプロジェクト等、学生の学びと地域貢献を目的とした活動を行っている。
214	西武文理大学	ファミリーサッカースクール	平成24年度	産業界(企 業等)			県内のJリーグクラブチーム大宮アルディージャと連携し、本学狭山キャンパスで地元の小学生1~3年生とその保護者の方を対象としたU-12コーチの指導によるファミリーサッカースクールを開催し、「サービス・ラーニング(スポーツイベント)」を履修する本学の学生が運営に携わった。
215	西武文理大学	リカレント教育(開放授業講 座)	平成21年度	自治体(行 政)			埼玉県福祉部と連携し、県内在住の55歳以上の方を対象に、本学サービス経営学部の授業科目の一部を受講できるように開放している。
216	西武文理大学	看護研究研修会 講師派遣	平成25年度	その他			埼玉県看護協会が主催する「看護研究研修会」の講師を本学看護学部の教員が担当し、研修会の実施に協力している。
217	西武文理大学	柏原地区防災キャンプ	平成25年度	自治体(行 政)	地域団体 (NPO、ボ ランティア 等)		柏原小学校において実施された柏原地区防災まちづくり推進委員会が主催「柏原地区防災キャンプ」に本学看護学部の教員と学生が参加し運営に協力している。
218	西武文理大学	彩の国大学コンソーシアム 単位互換制度	平成14年度	大学・短大 (大学・短大 間連携)			埼玉県西部に所在する大学で構成する彩の国大学コンソーシアムにおいて、参加大学の開講科目の履修を参加大学所属の学生に認め、単位互換を行う。
219	西武文理大学	入間川七夕まつりプロジェクト	平成25年度	地域団体 (NPO、ボ ランティア 等)	自治体(行 政)	産業界(企 業等)	関東三大七夕祭の一つに数えられる地元狭山市の「入間川七夕まつり」に学生ボランティアが多数参画している。やらいの出展のほか、クリーンステーションやインフォメーションカウンター等の支援、市内特別養護老人ホームからの参加者の車椅子移動支援等を行っている。
220	西武文理大学	狭山市魅力づくり事業 さやまスイーツフェス	平成29年度	自治体(行 政)	産業界(企 業等)		狭山市との連携協定に基づき、平成28年度に学生が提案した「さやまスイーツフェス」を産学連携体制の下に実施する。
221	西武文理大学	届け出挙式	平成29年度	自治体(行 政)			狭山市役所が行った県内2例目となる「届け出挙式」の演出を国内で初めて学生が担当した。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
222	西武文理大学	看護研究講座 講師派遣	平成22年度	その他			埼玉石心会病院が主催する「看護研究講座」の講師を本学看護学部の教員が担当し、臨床看護師を対象とした講義や看護研究の指導を行い、研究成果の公表まで支援している。
223	西武文理大学	おりぴい健康マイレージ事業	平成29年度	自治体(行政)			平成29年度から埼玉県が行う「埼玉県コバトン健康マイレージ」と健康長寿プロジェクト推奨プログラムの「プラス1,000歩運動」を組み合わせ、健康づくりを推進する取り組みとして、普段の歩数より1,000歩多く歩くことを目標とした「おりぴい健康マイレージ」を実施。本学看護学部の学生、教員が講演や測定会運営に携わった。
224	西武文理大学	サヤマdeシネマ vol.1	平成29年度	自治体(行政)			狭山市と共催。映画を通じ市民と学生が交流し、映画の魅力を発信するイベント。学生の実行委員会が主催し、企画・運営を行った。ゲストを招き、本学学生がインターンで参加する東京国際映画祭の魅力を伝えるトークセッションも催され、来場者から好評を博した。
225	西武文理大学	パンケーキ☆デコでクリスマス	平成29年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			本学所在地である柏原地区の児童を招き、パンケーキにデコレーションを施すイベント。施設の提供、学生教職員が参加した。
226	大正大学	松伏町 まつぶし逸品開発	平成29年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		松伏町の地域資源(米・野菜)を活用した「まつぶし逸品」を開発し、事業を通して町外に町の魅力をPRする取り組み。学生、商工会・事業者、町の職員、農業者、新聞社から7名が委員となり、若い世代の視点を反映し、松伏町が日本に誇れる逸品を町の関係者と作り上げることを目的とする。モニタリングなどとおして現在、最終的な逸品の選定を行っている。
227	大正大学	松伏町シティープロモーション戦略策定	平成29年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		松伏町の人口減少対策の一つとして、認知度を上げるためのシティプロモーション戦略策定を、学生、入庁5年以内の町の職員、新聞社から約15名が委員となり行った。 ①町外から見た松伏町の魅力発見 ②情報発信すべき内容の提案 ③町外に松伏町の魅力を訴えかける情報発信手段の提案 ④若い世代が利用している情報発信手段について行政での導入の検討 上記の①～④を主眼におき、最終的に「松伏町シティープロモーション戦略」として策定した。
228	東京家政大学	公開講座	平成17年度	自治体(行政)			<狭山市・入間市>共催の公開講座を実施。 「夏休みスポーツ体験教室」 「スポーツ吹矢健康法(スポーツ吹矢教室)」 「健康リズム体操～なじみの歌で体操しよう!～」 「仕事につながる!ソーイング講座～基礎から実践・実技講座～」(実施予定)

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
229	東京家政大学	子ども大学さやま・いるま	平成23年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		狭山市・入間市の教育委員会と実行委員会を組織し、教育資源を活用しながら子どもの知的好奇心を刺激する学びを提供する。 時期 7月～11月 回数 5回 対象 狭山市・入間市在住の小学校4～6年生60名
230	東京家政大学	小学校教員・学習支援者向け集中研修会	平成22年度	自治体(行政)			<入間市>共催の研修会を実施。 「小学校外国語活動集中研修会」 「理科観察実験実技研修会」 対象 小学校または中学校教員、学習支援員として働いている方、小学校教員を目指している本学学生および関心のある本学学生
231	東京家政大学	講演会	平成20年度	自治体(行政)			埼玉県西部地域まちづくり協議会と共催の映画上映会&トークショーを実施。 「イラン映画を観て考えようオフサイド・ガールズ～どうして女はスタジアムに入れないの!?～」 コメンテーター: 並木 有希(東京家政大学人文学部英語コミュニケーション学科准教授) 会場 入間市産業文化センターホール 対象: 所沢市・飯能市・狭山市・入間市・日高市に在住・在勤・在学の方
232	東京家政大学	ジュニアサイエンススクール	平成29年度	産業界(企業等)			株式会社小見山商事と共催で、小学校高学年向けの夏休み自由研究「サポート講座」を実施。 対象 小学校4・5・6年生
233	東京家政大学	埼玉県男女共同参画推進センターWith Youさいたま共催事業	平成29年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)		埼玉県男女共同参画推進センターWith Youさいたまと共催の公開講座を実施。 「地域へのまなざし」 主任講師 岩崎 美智子(東京家政大学家政学部教授・副学長) 会場 埼玉県男女共同参画推進センターWith Youさいたま 対象 地域活動をされている方及び講座テーマに関心のある方

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
234	東京国際大学	英語教育セミナー	平成29年度	その他			英語教育に関心を持つ小・中・高等学校教員、大学教員を対象として高校や大学、研究機関より講師を招き、講演会、シンポジウムを行い、英語教育に関する学習の場を提供することを目的とする。 <平成29年度> 「第1回英語教育セミナー」 日時:10月27日(金)16:30~18:00 場所:東京国際大学第1キャンパス 講演:水本 篤(関西大学教授) 演題:「Vocabulary Learning Strategies : Research and Practice」 「第2回英語教育セミナー」(予定) 日時:平成30年3月10日(土)13:00~16:00 場所:東京国際大学第1キャンパス テーマ:「文法の学び方・教え方を再考する」 第1部招待講演 「高校生は中学英語を使いこなせるか? -基礎定着を目指した文法指導への示唆-」 鈴木祐一(神奈川大学) 「エッセイライティングと文法指導:第二言語習得研究の成果から」 新谷奈津子氏(神戸学院大学) 第2部パネルディスカッション 「これからの文法指導を考える」 パネリスト:鈴木祐一、新谷奈津子、下山宣子(東京都立小平高校)
235	東京国際大学	川越市インターンシップ	平成18年度	自治体(行政)			平成18年度より自治体である「川越市」の協力を得て、毎夏2~4名の学生を派遣し就業体験を実施。 <平成29年度> 実施期間:8月7日~8月11日 福原市民センターへ1名 美術館へ1名 計2名の学生を派遣。
236	東京国際大学	現代GP子ども支援プロジェクト	平成19年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)		平成19年に文部科学省の採択を受けて始まった人間社会学部が行っているボランティア活動であり、遊び・スポーツ・学習支援などを通して子どもや障害を持つ方とふれあい生きた知識と技術を身につけていくボランティア活動を目指す。「学びの場」や「成長の場」を提供するため、コーディネーターや教職員、関係機関が連携して行っている。活動内容は2つのプロジェクトとなり①スチューデント・サポーター班(従前の不登校予防支援プロジェクト小・中学校等教育機関のボランティア)②地域班(地域と繋がり地域に住む子供や障害をもつ方の支援、陶芸・レクレーション・学習支援を行うボランティア) <平成29年度> ■スチューデント・サポート(SS)班 参加学生:20名 小学1年生中学3年生対象学生20名、家庭および学校へ訪問 ■地域班 参加学生:26名 県内適応指導教室つばさ・はばたきに通う児童へ陶芸・クリスマス会等の実施
237	東京国際大学	川越市との連携協定による国際交流	平成19年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等		川越市との連携協定(教育・文化・芸術・国際交流等の振興)のもと、日本の文化や政治、経済について学ぶ本学日本研究プログラム(JSP=Japan Studies Program)留学生在が川越市内小学校へ一日体験訪問し、自己紹介・国/出身地の紹介、日本の遊び・食育を通しての国際交流を実施。 <平成29年度>日時:6月14日(水) JSP春学期16名の留学生在が川越市立川越小学校4年生のクラスで児童と一緒に活動。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
238	東京国際大学	リカレント教育(開放授業講座)	平成21年度	自治体(行政)			「埼玉県福祉部と東京国際大学との授業科目の開放に関する覚書」に基づき、県内在住の高齢者や団塊世代の方々に授業科目の一部を開放。 <平成29年度春学期:4月5日~7月19日> 「アジア・アラブ史(A)」「アジア・アラブ史(B)」「民法」「現代中国ビジネス事情I」「中国文学概論」「国際資源論」「子どもの心理臨床」等7科目 <平成29年度秋学期:9月21日~1月19日> 「地域経済社会事情(中東)」「コーポレートガバナンス」「現代中国ビジネス事情II」「中国思想概論」「映像ジャーナリズム演習」「児童福祉論」等6科目。 授業回数:春秋学期15回(週1回又は週2回)又は30回(週2回)。
239	東京国際大学	飯能信用金庫との産学連携事業	平成22年度	産業界(企業等)			飯能信用金庫と包括協定を結び、その一環として冠講座の提供、学生に各業界の就業体験を経験させるためにインターンシップ先の紹介・支援の提供等。 <平成29年度> 「飯能信用金庫寄附講座」【地域金融最前線】 科目名:「商学特論P/地域金融講座(飯能信用金庫)」 曜日時限:水曜日2時限 対象学生:全学部2年生以上 開講期間:29年9月27日~29年1月17日(14回)
240	東京国際大学	川越大学間連携講座東京国際大学共催事業	平成24年度	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)		川越市内にある4大学と連携し川越市民対象の「川越大学間連携講座」 <平成29年度>演題:【グローバル社会と情報ギャップ】 開催日:12月9日(土) 10:00~12:00 講師:岩崎 暁男(本学言語コミュニケーション学部教授) 会場:東京国際大学 第2キャンパス 2111教室 受講料:500円
241	東京国際大学	「小江戸(川越)まちおこし」プロジェクト	平成25年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	産業界(企業等)	文部科学省「平成25年度地(知)の拠点整備事業(COC事業)の拠点校として採択されたことを機に「地域を志向した教育・研究・社会貢献」を進めている。現在は文科省COC事業からは離れ、本学独自の取組としている。 地域のまちおこしの担い手となる『グローバル人財』を育成するために、大学・自治体(行政)・民間(企業及びNPO等)の3者が連携・協働し、①地域商業・産業の活性化②川越の文化・歴史的資産(観光資源)を国内外へ発信③「まちおこし活動」の第一線で活躍できる主体的な人財育成を目指し地域志向型の教育研究体制を整備・充実することが本事業の目的である <平成29年度地域貢献イベント> ■タイトル:KCD: Kawagoe Community Design Workshop “川越まちおこしワークショップ” 日程:6月6日、8月1日、9月20日、12月1日、2月14日 場所:本学第1キャンパス 4号館 436教室 概要:川越市役所、地元企業、本学による「川越公・民・学連携会議」。映像制作会社の協力のもと、川越をテーマにした動画作成。(2/14発表)

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
242	東京国際大学	「スクール・インターンシップ」による学校支援事業	平成27年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等		川越市教育委員会が市内近郊の大学と連携し、市立小・中学校を対象に教職課程に在籍する学生を派遣し、学習指導の支援や部活動支援をとおして児童生徒の学力及び体力の向上を図ることをねらい、これからの学校教育を担う情熱をもった教師の育成を目的とする。 <平成29年度> 実施期間:平成29年6月16日～平成30年3月31日、派遣学生数:商学部2名、国際関係学部1名、人間社会学部30名、言語コミュニケーション学部4名 計37名、派遣学校:川越市立新宿、泉、今成、上戸、大塚、霞ヶ関、川越第一、川越西、仙波、大東東、高階北、高階西、高階南、月越小学校、川越市立川越第一、鯨井、大東西、寺尾、名細、野田、芳野中学校 活動内容:①授業における学習支援②部活動における支援③学校行事などにおける児童生徒の参加に関する支援④その他学校教育に関する支援
243	東京国際大学	川越商工会議所との連携事業「インターンシップ」他	平成27年度	産業界(企業等)			キャリアプランニング教育の一環として本学商学部学生が地元企業の実態を知る機会を持ち就業機会の拡大を目的とした川越商工会議所との連携事業「インターンシップ」他 <平成29年度> 【インターンシップ】 日時:8月5日～9月20日の期間で1日～10日間 参加学生:32名(対象:商学部2・3年生) 受入企業23社 【インターンシップ報告会・意見交換会】 日時:12月6日(水)15:00～16:20 場所:本学第1キャンパス3号館 地元企業23社が商学部学生32名を受け入れたインターンシップ事業。実習参加学生のインターンシップ実習報告及び受入企業との意見交換会を実施。 同日開催:【インターンシップ報告会記念講演会】 演題:破断の時代:経営環境、経営課題、能力開発の大変化 講師:須貝栄(本学商学部教授) 【商学部 基礎演習 合同講演会ー経営者に学ぶ企業と人材】 日時:2017年1月10日(水)13:10～14:40、場所:本学第1キャンパス112教室 演題:見える化と地域おこしによる交通まちづくりの取り組み 講師:イーグルバス株式会社代表取締役社長 谷島賢氏
244	東京国際大学	川越商工会議所連携事業「商学部公開授業」	平成27年度	産業界(企業等)			川越商工会議所と連携し、①事業の維持・継続・発展②事業の経営理念・経営目標・経営戦略③事業の承継と後継者の育成④事業承継と税制(資金調達)の観点より事業承継に関する基礎知識を埼玉県民へ一般公開する取組。 <平成29年度> 2017年度春学期公開授業 「事業承継に関する基礎知識を習得する」 講師:飯野 邦彦(商学部教授) 日時:4月7日(金)～7月18日(火)毎週火曜日、金曜日2時限 場所:本学第1キャンパス 受講料:無料

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
245	東京国際大学	川越産業フェスティバル	平成28年度	自治体(行政)			川越市産業振興課から商学部が参加依頼されたもので川越市の産業振興のためのフェスティバル。展示会には商学部から1組の演習ゼミが参加。小江戸ヴァーチャルリアリティ体験ゲームを3D再現ソフトのマイクラターで作成。室町・江戸・明治時代の川越を再現。『時をかけるマイクラター～再現された河越館・川越城・蔵造りを探索～』として展示。 ＜平成29年度＞ 日時:11月11日(土)・11月12日(日) 会場:ウエスタ川越
246	東京国際大学	坂戸高校国際交流研修	平成28年度	幼保・小・中・高等学校等			坂戸高校の国際理解教育の一環として、本学Eトラック生を坂戸高校へ派遣し、少人数でのフリートークを通じて、国際相互理解と英語でのコミュニケーションを目的とした国際交流企画。 ＜平成29年度＞ 日時:5月24日(水)12:30-14:00 場所:坂戸高校 派遣人数:Eトラック生20名
247	東京国際大学	狭山清陵高校留学生講演会	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			狭山清陵高校の国際理解教育の一環として、本学留学生を派遣し、母国について講演を行い、国際交流の意識を高めることを目的とする。 ＜平成29年度＞ 日時:11月29日(水)10:30-13:30 場所:狭山清陵高校 派遣人数:留学生4名
248	東京国際大学	霞ヶ関西中学校「外国文化交流体験」	平成28年度	幼保・小・中・高等学校等			本学留学生による母国文化の紹介と体験学習を通じて、日本と異国の違いを学習し、国際貢献も含めた自己の進路を考えさせる機会作りを目的とした国際交流体験。 ＜平成29年度＞ 日時:1月23日(火)13:15-15:30 場所:霞ヶ関西中学校 派遣人数:留学生6名
249	東京国際大学	彩の国はたらく情報館企業の魅力動画	平成26年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		＜平成29年度＞ 埼玉県産業人材育成課との共同作業。県が企業を募集、大学がその企業のPR映像を作成するという事業。本学国際関係学部が参加し、現在は「映像制作Ⅱ」の授業で行い、県内企業の魅力を動画で紹介。“ヒーハリスト精工株式会社”“倉沢建設株式会社”“株式会社アクアテックス”“株式会社マッハ”の動画を作成、県のホームページにアップされる。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
250	東京国際大学	近隣小学校への学習支援	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			<p><平成29年度> 霞ヶ関東小学校および鯨井中学校の要請に基づき、以下の活動を国際関係学部の「現場教育プログラム・ボランティア活動」の一環として実施。</p> <p>1. 霞ヶ関東小学校 (1) 外国籍児童の学習支援活動 実施期間:11月9日～3月半ば頃 対象:小学2年生と3年生のネパール人児童 活動内容:外国籍児童の日本語支援、母語支援を通じた学習支援活動 活動日:原則、木曜日午前中2～3時間(週によっては午後2～3時間も実施)。その他、金曜日午前中2～3時間(11月～12月)、火曜日:午前中2～3時間(1月～3月)も実施。 活動参加者:国際関係学部2～4年生が6～7名(シフトによる)、大学院国際関係学研究科ネパール人学生1名。</p> <p>(2) ワールドフェスティバル 実施期間:2017年12月1日 10:50-12:30 対象:1年生から6年生までの12クラス 活動内容:留学生が自国の文化や挨拶、食べ物を紹介、児童たちが考えた遊びで交流 活動参加者:国際関係学部留学生(J-Track, E-Track院生含)19名</p> <p>2. 鯨井中学校 実施期間:8月7日～8月9日 8:20-11:30 対象:中学校1年から3年の生徒 活動内容:生徒の定期試験前/夏季講習の際の自習監督として学習サポーターを派遣 活動参加者:国際関係学部生2名</p>
251	東京国際大学	アセアン企業塾	平成28年度	自治体(行政)			<p>ASEAN(東南アジア諸国連合)に進出している埼玉県の良いグローバル企業を取り上げ、そのグローバル化の過程で生じる諸問題や経営課題を学生に企業経営者が講演するプログラム。</p> <p><平成29年度> 日時:6月21日(水)14:50-16:20 場所:本学第1キャンパス314教室 演題:「グローバルネットワーク構築とタイ工場立ち上げ～シバサキ製作所の海外進出に関連して～」 講師:シバサキ製作所 代表取締役社長 芝崎亮二</p>
252	東京国際大学	川越市立大東西中学校「異文化交流体験」	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			<p>本学留学生による母国文化の紹介と体験学習を通じて、異文化について学び、異文化理解の重要性と自国文化を見直す機会作りを目的とした異文化交流体験。</p> <p><平成29年度> 日時:7月5日(水)13:30-16:00 場所:川越市立大東西中学校 派遣人数:留学生6名</p>

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
253	東京国際大学	インドネシア向け川越PR動画制作への協力	平成29年度	自治体(行政)			埼玉県川越市観光課からの依頼により、東南アジアからのインバウンド観光客促進の一環としてのインドネシア向け川越市PR動画の制作に、本学のインドネシア人留学生6名が協力した。その協力内容は、川越市の観光地の印象やインドネシアでの評価についてのヒアリング、動画への出演、インドネシア語翻訳アドバイスなど。 実施期間:7月～11月
254	東京国際大学	ふじみ野市学生インターンシップ	平成17年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等		ふじみ野市との学生インターンシップ活用事業に関する協定に基づき、教員を志した教育に関心をもつ本学学生の社会貢献実習の一環として、小学校及び中学校へフレッシュサポーターとして言語コミュニケーション学部3年生を派遣。 ＜平成29年度＞ 派遣期間:秋学期 派遣学生3名 派遣校:ふじみ野市立上野台小学校他
255	東京国際大学	鶴ヶ島市学生インターンシップ	平成25年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等		鶴ヶ島市教育委員会と東京国際大学が、学校教育分野における連携、協力に努めることにより、相互の教育の充実及び人材の育成、広く社会の発展に寄与することを目的とし、鶴ヶ島市の小・中学校へ教育支援学生ボランティアとして言語コミュニケーション学部3年生を派遣。 ＜平成29年度＞ 派遣期間:秋学期 派遣学生1名 派遣校:鶴ヶ島市立西中学校
256	東京電機大学	彩の国大学コンソーシアム協定による教職員研修会	平成17年度	大学・短大(大学・短大間連携)			協定に加盟する17大学対象に、当番校の特色を生かして交代で年数回実施している。H28年度は2回の実施を予定している。
257	東京電機大学	彩の国大学コンソーシアム協定による公開講座	平成14年度	大学・短大(大学・短大間連携)			彩の国大学コンソーシアムに加盟している17大学の内、12大学が公開講座に参加している。 大学相互の協力交流を通じ、既存の知的資源と人的資源の活用可能性を社会に広報し、学生や社会人等にとって価値のある学修活動の場を広く提供する。近隣の施設において、1大学1講座を実施している。
258	東京電機大学	彩の国大学コンソーシアム協定による単位互換	平成14年度	大学・短大(大学・短大間連携)			彩の国大学コンソーシアムへ加盟している17大学の内、10大学が単位互換に参加している。 希望する学生は履修したい大学へ2,000円の登録料を支払うことで、科目数には制限は無い。
259	東京電機大学	子ども大学はとやま	平成24年度	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)	産業界(企業等)	子ども大学はとやまは、埼玉県が行っている「元気な地域を創造する子ども大学推進事業」により、鳩山町が今年度から参画し、町からの依頼により本学と連携して実施。対象児童は、鳩山町内の4つの小学校の児童4年生から6年生の30人。6月から11月まで、計6回の講義を行った。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
260	東京電機大学	県立松山高等学校SSH	平成24年度	幼保・小・中・高等学校等			松山高等学校が指定された文部科学省のSSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業に対して、平成24年度より松山高等学校からの依頼を受けて、物理部の生徒に電子工学の指導を行った。大学において全6回の講義やもの作りを行い、科学技術に対する生徒の興味関心を喚起し、科学的素養の育成に役立てると共に、生徒の進路選択の一助とする。
261	東京電機大学	鳩山中学校キャリア体験プログラム	平成28年度	幼保・小・中・高等学校等			鳩山中学校からの依頼により、2年次生(105名)に対して大学を理解するために2回にわたり講義、キャンパス見学、学食体験を行った。
262	東京電機大学	公開講座「オーケストラを楽しもう」	平成10年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等	産業界(企業等)	本学学生の管弦楽団を中心に、近隣の高校生やプロの演奏者の3部構成で、公開講座として本学教員が司会進行を行う。楽器の説明や参加者が参加できる指揮者体験等、音楽の面白さを説明する。
263	東京電機大学	リカレント教育	平成20年度	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)		埼玉県福祉部高齢者福祉課からの依頼により、県内19大学において、55歳以上の県内在住者へ大学の一部の授業を開放する。受講生は延べ100名程度となっている。
264	東京電機大学	北坂戸にぎわいサロン	平成26年度	自治体(行政)	その他		坂戸市との協定に基づき、東武東上線北坂戸駅前にあるUR所有の店舗を借り受け、地域の活性化を目的として様々な活動を行っている。教員や学生がパソコン相談やiPad講習会を実施するほか、地域住民のボランティアが様々な講座を開講して、活発な活動を行っている。
265	東京電機大学	北坂戸ふれあいまつり	平成26年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			北坂戸にぎわいサロンが所在する地域での夏祭において、サロンを開放して学生の企画したイベントを実施した。昨年に引き続きラジコンカーを制作して地域の子どもを中心にレースなどを行い、2日間で100名強の子どもたちが参加した。
266	東京電機大学	国際野外の表現展	平成15年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			外部団体である実行委員会より依頼を受け、キャンパス内へ国内外のアーティストの里山空間に表現された作品を設置している。これにより、人里はなれたキャンパスへ地域住民が散策に訪れ、地域に潜在する様々な魅力を見いだしている。
267	東京電機大学	宇宙・産学官・地域連携コンソーシアム	平成28年度	自治体(行政)	産業界(企業等)	大学・短大(大学・短大間連携)	比企地域の自治体や大学、企業等が連携し地域が抱える様々な課題に対する解決策を協議し、それを実現させるための活動を支援し、地域の振興と発展に寄与する。平成28年度はワークショップや講演会を実施した。
268	東京電機大学	さくらサイエンスプログラム	平成26年度	産業界(企業等)			近隣にある一般財団法人リーモートセンシング技術センターがJSTによる「日本・アジア・青少年サイエンス交流事業」に採択されたことに伴い、会場使用の協力とリーモートセンシングの授業を本学の教員が担当した。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
269	東京電機大学	さくらサイエンスプログラム	平成29年度	大学・短大 (大学・短大 間連携)			近隣にある城西大学がJSTによる「日本・アジア・青少年サイエンス交流事業」に採択されたことに伴い、本学における工学教育現場の見学を対応した。
270	東京電機大学	TDU産学交流会	平成2年度	産業界(企 業等)			日刊工業新聞社川越支社が事務局となり、講演会、企業視察、工場見学、事例発表会、親睦ゴルフ大会、一泊研修、学生向けの企業研究会など、年間を通じて開催し、会員企業と本学との連携を図っている。
271	東邦音楽大学	南古谷ウインドオーケストラ	平成17年度	幼保・小・ 中・高等学 校等			少子化に伴い、個々の吹奏楽の団体では部員も減少し、十分な編成を組むことが出来なくなってきたこと、吹奏楽の練習等を行うための施設の確保が難しいこと、さらに指導者が不足していることから、川越市南古谷地域子どもサポート委員会との連携により、川越市南古谷の中学校3校(南古谷中学校・東中学校・砂中学校)の吹奏楽部員を核に演奏活動を行っている。平成28年度より、一定の基準をクリアすれば単位認定を行っている。
272	東邦音楽大学	東邦音楽大学 管打楽器実 技講習会 ~プラスクリニック ~	平成12年度	その他			吹奏楽で音楽専門の大学におけるクリニックを希望する団体に対し、埼玉県教育委員会、川越市教育委員会、埼玉県吹奏楽連盟、川越市吹奏楽連盟の後援を得て、楽器ごとにクラスをつくり、グループレッスン形式で基礎奏法及びアンサンブルなどの実技指導を行っている。
273	東邦音楽大学	川越市吹奏楽連盟 管打楽 器実技講習会 ~プラスクリ ニック~	平成13年度	その他			吹奏楽で音楽専門の大学におけるクリニックを希望する団体に対し、川越市吹奏楽連盟の要請を受け、川越市内、中学校・高等学校の吹奏楽部より希望する団体を集め、楽器ごとにクラスをつくり、グループレッスン形式で基礎奏法及びアンサンブルなどの実技指導を行っている。
274	東邦音楽大学	中学校・高校生のための日本 管弦打楽器ソロコンテスト	平成16年度	その他			文部科学省、埼玉県、埼玉県教育委員会他諸団体の後援・協賛を頂き、全国の中学生高校生を対象とし、木管部門・金管楽器部門・打楽器部門・弦楽器部門のソロ演奏審査を行っている。《予選》では、参加者全員に審査員の講評が渡され、《本選》では金賞、銀賞、銅賞の3つのランクに表彰及び審査員の講評が渡される。また、金賞受賞者のうち、特に優秀であると認められた参加者には特別賞が授与され、受賞記念演奏会に出演することができる。
275	東邦音楽大学	音楽鑑賞教室	平成8年度	幼保・小・ 中・高等学 校等			小学校、中学校、高等学校の児童・生徒を対象として「オーケストラ」「ウインドオーケストラ」演奏などの鑑賞教室を行っている。
276	東邦音楽大学	都立大塚病院院内ミニコン サート	平成4年度	その他			病院にて、入院患者はもとより一般来院者の方々を対象にミニコンサートを行う。
277	東邦音楽大学	文京シビックコンサート	平成7年度	自治体(行 政)			文京区役所シビックセンターにて、一般の方々を対象にコンサートを行っている。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
278	東邦音楽大学	出張演奏	平成5年度	その他			川越市東部地域ふれあいセンター他、文京区、川越市内などの児童館、図書館、保育園、福祉施設、病院、各種イベントなどへの出張コンサートを行う。
279	東邦音楽大学	ニューイヤーコンサートin南古谷	平成17年度	地域団体(NPO、ボランティア等)			南古谷地域の文化団体の演奏発表会。東邦音楽大学附属東邦第二高等学校及び南古谷ウインドオーケストラも出演している。
280	東邦音楽大学	インターンシップ	平成17年度	自治体(行政)	産業界(企業等)	その他	大学2、3年次生及び短期大学1、2年次生を対象として、行政(自治体)又は企業において概ね10日間の就業体験を行っている。
281	東邦音楽大学	小学校、中学校の授業サポート	平成16年度	幼保・小・中・高等学校等			川越市内小学校、ふじみ野市内小学校、中学校において、学生が授業サポートにあたっている。平成28年度より、一定の基準をクリアした場合には単位認定を行っている。
282	東洋大学	川越市との連携	平成24年度	自治体(行政)			「川越市と東洋大学との連携会議」を年に1回開催している。教育研究等における協力関係について包括協定を締結し、現在も多方面で連携関係を構築している。
283	東洋大学	川越大学間連携講座	平成12年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体(行政)		川越市共催事業という市民講座。
284	東洋大学	川越市トップアスリートふれあい事業	平成19年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体(行政)		市立小学校に陸上部員を派遣。長距離走を通じて、児童に運動する楽しさや喜びを体験させるとともに、体力向上を図る。
285	東洋大学	川越市小・中・大学連携ふれあい事業	平成18年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等		市立小学校、中学校に本学教員を派遣して理科授業を実施。理科離れが危惧される小中学生に、理科の楽しさを伝えることを目的とする。
286	東洋大学	産業界セミナー	平成9年度	産業界(企業等)			本学教員を企業に出張してセミナーを行なう。講義内容は一般論、基礎論、応用、先端技術など。地域企業の技術力向上を目的とする。
287	東洋大学	川越・鶴ヶ島地域活性化プロジェクト	平成24年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)		総合情報学科の必修科目「総合情報プラクティスV・VI」の一環として、大学近隣地域の活性化を地域とともに計画・立案・実施する演習を実施。調査・イベント実施・発表会・報告書作成などで実施成果を還元している。
288	東洋大学	ソーシャルデザインプロジェクト	平成23年度	自治体(行政)			建築学科教員が公共インフラの提案を実施。インフラの老朽化、市街地の衰退、人口減少などに対応し、いかに維持管理費を抑えながら住民ニーズを満たしていくかを提案している。現在、「鶴ヶ島」「大宮東口」「川越」の3か所で本プロジェクトを展開している。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
289	東洋大学	学術講演会(オープン講座)	平成15年度	自治体(行政)			本学の教員が、研究成果や学問的知見などをもとに、地域の環境保全、交通安全、防犯、福祉、学術的・芸術的な要素のものなどからテーマを取り上げ、市民の生涯学習の一環として開講している公開講座。年2回開講(春・秋)。 ※受講者は、川越市民以外でも可。
290	東洋大学	サマースクール	平成11年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等		川越市および近隣の小中学生を対象に、ロケット作りや木登り、昆虫採取、魚釣り、折りたたみ椅子作りなど、さまざまな実験や工作、体験を通して、工学やものづくりへの関心を育んでもらうことを目的とする。毎年夏開催。
291	東洋大学	市民大学講座(オープン講座)	平成10年度	自治体(行政)			本学の教員が、研究成果や学問的知見などをもとに、市民に身近なテーマを取り上げ市民の生涯学習の一環として開講する公開講座。全4~5回。 全回受講した人には修了証を授与する。 ※受講者は、川越市民以外でも可。
292	東洋大学	教育提携プログラム	平成19年度	幼保・小・中・高等学校等			武蔵越生高等学校(平成19年より実施)の生徒に対し、「高等学校生徒に大学教育を開放し、大学教育及び本学に対する理解並びに高等学校教育の一層の向上を計る」ことを目的に、年2回(1回2コマ)毎回テーマを変えて実施している。全回受講した生徒には、修了証を授与する。
293	東洋大学	現代GP「持続型共生教育プログラム	平成15年度	自治体(行政)			地方都市の中心市街地空洞化が、全国的に問題となっている中、川越市の歴史的町並みを活かした魅力的な街づくりを進める拠点として、新たな交流の場「まちなか交流館」を建築学科の学生・教員が提案し、市民への発表の場として「まちかど講評会」を毎年開催している。
294	東洋大学	川越市立鯨井中学校 学習サポート	平成18年度	幼保・小・中・高等学校等			本学の教職志望学生を川越市立鯨井中学校に派遣。テスト範囲の学習を、生徒個人の質問に応える形式でサポートしている。
295	東洋大学	埼玉県立高等学校 学習サポーター	平成24年度	幼保・小・中・高等学校等			本学の教職志望学生を埼玉県内の公立高等学校に派遣。理科・数学の補講指導、進学相談、始業前の生活指導など、多くの面で教員を補助することで教育現場を体験する。
296	東洋大学	地学地就プロジェクト	平成24年度	産業界(企業等)			川越市東部工業会協同組合を構成する、地域の企業に在校生を派遣。経営者・従業員への取材内容、就業体験内容を冊子にて発表。
297	東洋大学	鶴ヶ島市・東洋大学連携スポーツ講習会	平成21年度	自治体(行政)			理工学部生体医工学科の教員が、研究活動成果を地域住民の健康管理を目的とし、鶴ヶ島市教育委員会と共同で市民講習会を開催している。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
298	東洋大学	埼玉県「ふるさと支援隊」	平成26年度	自治体(行政)			高齢化や過疎化の進行等、農林業や地域活動の維持が困難な状況となっている地域に対し、学生の持つ、新しい視点や行動力、専門技術・知識など「外からの力」を活用することによって集落の活性化を図る。 活動地域:飯能市東吾野地区 活動テーマ:健康づくり事業サポートプロジェクト 活動内容:健康づくり事業の中で、学生の技能を発揮できる分野である運動関係の事業に関して、企画の段階より加わり、運動環境の整備やイベント当日の人的支援等、総合的な支援を実施。
299	東洋大学	子ども大学あさか	平成23年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)		大学のキャンパスで、大学教員をはじめとするさまざまな分野の専門家が「はてな学」「ふるさと学」「生き方学」という3つの分野の講義や実習体験を提供する小学4年生から6年生を対象とした「子どものための大学」。 H28年度実績 企画運営:子ども大学あさか実行委員会(朝霞市教育委員会・(社)朝霞青年会議所・東洋大学・NPOアンサーズ・ネット) 全8回(学園祭ミニあさかを含む) 参加者:70名
300	東洋大学	産学連携セミナーの共催	平成18年度	産業界(企業等)			県内金融との共催で「産学連携セミナー」を開催する。ニーズに合わせた講演会と、大学と企業の交流会(技術懇話会)を行う。 平成29年度は、さいしんコラボ産学官(埼玉縣信用金庫)と8月に、武蔵野銀行と2月に開催。
301	東洋大学	さいたま医療ものづくりフォーラムの後援	平成26年度	自治体(行政)			医療機器製造に関わる有識者からの後援や参入実現企業による成功事例の紹介及び各機関の相互交流の場を創出することで、地域の研究開発型ものづくり企業の医療機器関連分野への新規参入・事業拡大の足がかりとするもの
302	東洋大学	医療イノベーション埼玉ネットワークに参加	平成26年度	自治体(行政)			医療機器等の関連企業や大学・研究機関、医療機関等の情報共有・交流の場を提供するネットワークを設立し、産学医連携を強化することにより、医療機器等の研究開発の活性化や関連産業への参入拡大などを進める。
303	東洋大学	親子でエンジョイスports(朝霞市)	平成23年度	自治体(行政)			主催:東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科齊藤ゼミ 後援:朝霞市教育委員会 事業概要:朝霞市在住の「幼稚園対象年齢~小学生低学年とその保護者」を対象に、東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科齊藤ゼミの学生がレクリエーションを用意し、ゲーム形式のイベントを行い、地域交流を行っている。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
304	東洋大学	市民のいきいき健康づくり-スポーツと健康	平成27年度	地域団体 (NPO、ボランティア、自治会等)	自治体(行政)		主催:NPO法人朝霞ぐらんぱの会 事業概要:朝霞市在住の市民を対象に、ライフデザイン学部健康スポーツ学科の教員が講師となり、今年度は「人生を生き生きと輝かせるためのライフデザインを考える。」について、「肥満、生活習慣病と運動」「シニア期の健康と運動」をテーマに3回の講義を開催した。市民のいきいき健康づくりを手助けし人生を輝かせるライフデザインを考えるという学習テーマが十分に達せられた。
305	東洋大学	小学生向けイベントへの講師派遣	平成27年度	産業界(企業等)			埼玉県信用金庫主催「さいしん夏休みキッズスクール」へ、講師を派遣。今年度は県内の3大学1企業が協力し、4箇所でものづくり体験教室を実施。
306	東洋大学	JICA事業の共同実施	平成26年度	自治体(行政)			JICA・草の根技術協力事業である「埼玉・セブものづくり人材育成事業」へ協力し、本学の研究者(教員)がフィリピンにおいて「日本のものづくり」に関する講義を、現地の大学生向けに実施。また、日本国内での研修にも研究者・事務局が積極的に参画し、事業の実施を推進している。
307	東洋大学	高等技術専門校の実習実施への協力	平成28年度	自治体(行政)			埼玉県産業労働部産業人材育成課からの依頼に基づき、埼玉県立の高等技術専門校の学生に対して、研究者が環境実習(講義・施設見学等)を実施(平成28年9月2日/平成29年8月29日・本学川越キャンパス)
308	東洋大学	世代間交流形式の健康教室による地域在宅高齢女性のセルフケア技術修得支援	平成29年度	地域団体 (NPO、ボランティア、自治会等)			医療生協さいたまの協力も得て、地域在宅高齢女性のグループと連携し、健康体操教室を開催。ストレッチ体操、レジスタンス体操、音楽に合わせて行う簡単なリズム体操、歌いながら左右の手を非対称に動かす運動プログラムを考案した(平成29年度は7回開催)。
309	東洋大学	朝霞市における小学生の居場所づくり「きゃんぱす」事業	平成28年度	地域団体 (NPO、ボランティア、自治会等)			少子高齢化や核家族化の進行といった社会状況の中、学習や友人関係のつまずきなどから不登校になる子どもの増加が懸念されている。これらは地域における孤立化、不就業、貧困化に結びつきやすく、早い段階から子どもの育ちを支える仕組みが必要である。この活動では、「朝霞多文化子育ての会ばんびーに」等、朝霞市内の子育てサークルとも協力し、小学生の居場所づくり事業として、福祉や教育に係る資格取得を目指す学生が、子どもひとりひとりにあわせた学習支援、相談支援、遊び支援を提供する(平成29年度は8回開催)。
310	東洋大学	こもれびの森・里山支援隊	平成29年度	その他(地域の市民等)			本学の教職員、学生、市民が協働で、キャンパス内にある森を保全・活用するために、森林施業、森林資源利用、森林環境教育を行っている。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
311	獨協大学	獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンター活動	平成19年度	地域団体 (NPO、ボランティア、自治会等)	幼保・小・中・高等学校等	自治体(行政)	平成19年の開設以来、子どもに関わる相談機関として、常に子どもの最善の利益を考えながらサポートを行っている。また、獨協医科大学埼玉医療センター、草加市立病院、埼玉県立大学、文教大学の協力を受け、専門家による無料相談も行っている。加えて、併設する地域と子ども法律事務所との連携を図りながら法的解決にも努めている。その他、母親向け講座「おやこ大学」、小学生対象「大学たんけん」、「ワークショップ」、草加市と連携した「子育てフェスタ」、「子育て支援講座」などのイベントも開催している。なお、これらの活動が認められ、子育て・家族支援等において顕著な功績があった団体として、平成25年度内閣府特命担当大臣表彰(子ども・若者育成支援部門)を受賞した。また、平成27年度には埼玉県からの委託を受け、子育て支援のネットワークづくり応援「新米パパとあかちゃんのおやこ大学」を開催した。
312	獨協大学	埼玉県「ふるさと支援隊」	平成23年度	自治体(行政)			中山間地域の多くの集落では、高齢化や過疎化の進行等により、農林業や地域活動の維持が困難な状況となっている。大学生等の持つ新しい視点や行動力、専門技術・知識など「外からの力」を活用することによって、集落の活性化を図ることを目的とする。 (1)活動計画作成 (2)協働活動(4回以上) (3)活動状況の報告 (4)活動報告会への参加 (5)活動結果報告書(成果品)の作成
313	獨協大学	草加市・獨協大学地域研究プロジェクト事業	平成25年度	自治体(行政)			「草加市・獨協大学地域研究プロジェクト事業に関する基本協定書」に基づき、草加市と獨協大学は、互いに連携・協力して豊かな地域社会を創るため、地域研究の共同研究事業を実施する。
314	獨協大学	草加ふささら祭りとのジョイント開催	平成24年度	自治体(行政)	地域団体 (NPO、ボランティア等)		大学祭実行委員会が草加ふささら祭り実行委員会と連携し、大学祭参加団体の草加ふささら祭り会場でのパフォーマンス披露、広報協力、大学祭イベントで「ふささら賞」の設置など、様々なコラボレーションを行っている。また前年同様「草加ふささら・ドイツフェア(主催:草加ふささら祭り実行委員会)」が大学祭時に獨協大学前駅西口広場にて開催された。
315	獨協大学	国際交流フェスティバル「草加国際村一番地」	平成16年度	自治体(行政)			草加市民と本学学生がともに国際理解を深めるため、参加・体験できるイベントとして草加市国際交流協会と獨協大学の共催で、毎春、獨協大学を会場に実施するもの。世界の音楽、ダンス、食べ物、文化体験、ワールド・バザールに加え、本学留学生の協力によるワールド・ランゲージ(外国語でおしゃべり)やゼミ・学生団体による学修成果発表やディスカッションの場も用意されるなど、その内容は多岐にわたる。また、運営にあたり、本学の学生が多数実行委員としてボランティア参加している。第8回目の平成23年度からは同協会と本学の共催イベントとなり、14回目の今春は約6,000人の入場があった。
316	獨協大学	大学連携講座「けんかつオープンカレッジ」	平成21年度	地域団体 (NPO、ボランティア等)	大学・短大 (大学・短大間連携)		公益財団法人いきいき埼玉主催の一般市民向け公開講座「けんかつオープンカレッジ」に講座を開設した。平成28,29年度は依頼がなく実施していない。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
317	獨協大学	草加市共催子育て支援講座	平成21年度	自治体(行政)			獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターでは、草加市・獨協大学協働宣言に基づき、子育て支援講座を共催している。平成29年度は「上手にほめる上手に叱る」、「シアワセを獲得できる子どもを育てるために」、「子どものアレルギーとその対応」、「Welcome! イイヤ期 自立に欠かせない必要な時期 気持ちを楽にして乗り切ろう!」を開講した。
318	獨協大学	子育てフェスタの実施・運営	平成24年度	地域団体(NPO、ボランティア等)	自治体(行政)	その他	獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターでは、親子で一緒に楽しく遊ぶ場、人と人が触れ合う場を提供し、地域の子育て支援を行うことを目的とした、草加市主催のフェスタの運営・企画に運営委員として協力し、当日には工作や手芸のブースを出している。
319	獨協大学	親子・支援者向け講座	平成26年度	地域団体(NPO、ボランティア等)	自治体(行政)		獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターでは、子どもに関わる支援者・団体との連携を強め、多様化する子どもの問題に対応できるよう講座を開催している。毎回子どもの環境に視点を置いた内容として、平成26年度「様々な課題を抱える家族への支援講座」、「保護者との連携を進めていくために」、27年度「メディア環境と子どもの育ち」、29年度は「学校における事件・事故とリスク対応—子どもの最善の利益の視点から」をテーマに行った。毎回地域支援者等から多くの参加がある。
320	獨協大学	小学生の剣道合同稽古	平成元年度	地域団体(NPO、ボランティア等)			松原剣道スポーツ少年団(草加市)の小学生が大学内の道場にて本学剣道部の学生と合同で稽古している。
321	獨協大学	学内献血の実施	昭和44年度	産業界(企業等)			社会福祉ボランティアサークルの白鷺会が、埼玉県赤十字血液センターの献血事業に毎年協力している。2017年度は4月、5月、7月、12月に実施した。2009年には長年の協力に対し、日本赤十字社より、白鷺会に感謝状が贈呈されている。
322	獨協大学	夏休み大学たんけん	平成19年度	地域団体(NPO、ボランティア等)			獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターでは、地域の子どもの健全育成や関係団体との連携を目的として、夏休み期間を学童(児童)クラブで過ごす子どもたち対象に、子どもたち自身に「たんけんたい」として大学内を散策してもらうことで大学紹介へとつなげる取り組みを行っている。平成29年度はさらに参加対象を拡大して行う予定であったが、事情により催行中止となった。
323	獨協大学	夏休み子どもワークショップ	平成19年度	地域団体(NPO、ボランティア等)			獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターでは、小学校の夏休み期間に合わせて小学校高学年対象の子どもワークショップを開催している。平成29年度も、前年に引き続き埼玉弁護士会協力のもと「トラブルかいけつにん養成講座入門編～弁護士と一緒に考える、トラブルの解決の仕方～」を実施した。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
324	獨協大学	高年者学級 コスモス	平成20年度	自治体(行政)			草加市立谷塚文化センターが主催する事業に草加市内在住の60歳以上を対象に年間10回の催しを開催する高年者学級「コスモス」がある。その催しの一つ「草加のまちを考える わがまちの獨協大学で学ぶ」を毎年本学内で開催。講師による講義、施設見学等を実施している。
325	獨協大学	地域ビジネススクール草加 “草加商工会議所コラボ獨協大学”	平成27年度	自治体(行政)	地域団体 (NPO、ボランティア等)		草加市内の企業経営者、後継者等を対象に、新事業展開等を行うための経営戦略、組織マネジメント等の知識・ノウハウなど、ビジネススキルアップに必要な要素を体系的に学ぶ機会を提供する。草加商工会議所実施の講座に加えて、獨協大学側では、中小企業の働き方改革・人材獲得、マーケティング、経営とリーダーシップといった専門分野の担当教授等による講座を開催した。
326	獨協大学	子ども大学そうか	平成27年度	自治体(行政)			子ども大学は、大学のキャンパスなどを会場に大学教員や地域の専門家が講師となり、子どもの知的好奇心を刺激する講義や体験活動を行うもので、埼玉県内各地で広く実施されている。草加市では「子ども大学そうか」として草加市と獨協大学の協力により2015年度から開講された。草加市内の小学校の子どもたちが、獨協大学のキャンパスや市内の事業所などで楽しく学んでいる。
327	獨協大学	法政総合講座	平成16年度	自治体(行政)			近隣の草加市、越谷市、八潮市との関わりの中で、各市が目指すまちづくりや自立した自治体を実現するための新たな行政経営を理解し、学生が自ら地方行政に参加する双方向の授業として、「法政総合講座」を開講し、一部を市民に公開している。この講座は隔年で開催され、前出3市の職員の方が講師となり、地方行政が抱えている課題や新たな取り組みについて講義を行う。募集については、広報そうか等でお知らせしている。
328	獨協大学	自転車サルベージの実施		地域団体 (NPO、ボランティア等)			環境サークル「Deco」がFSCサルベージ協会(事務局:草加市)と協働で年4~5回、草加市や川口市などを流れる川から廃棄自転車の引上げを行っており、2017年度には引き上げた自転車の数が累計1000台となるなど継続的に活動している。
329	獨協大学	草加宿場祭まつり大名行列		地域団体 (NPO、ボランティア等)	自治体(行政)		演劇研究会が草加宿場まつりの中の企画である大名行列において、行列に参加するだけでなく、小学生へ歩き方の事前指導や、当日の小学生の体調管理など草加宿場まつり実行委員会と連携し運営している。また、行列には本学の外国人留学生も参加している。
330	獨協大学	マンガ・イラスト教室の開催	平成28年度	自治体(行政)			漫画研究会が越谷市立児童館ヒマワリと連携し「初めてのマンガ・イラスト教室」を開催し、主に小学生に対し、講師として実技指導やアドバイスを行っている。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
331	獨協大学	話し方講座の開催	平成28年度	自治体(行政)			放送研究会が草加市勤労青少年ホームと連携し、青少年自主企画講座「アナウンサー・ラジオパーソナリティに学ぶ 人前で話す表現力と自信」を開催し、外部講師の手配や講師として実演指導やアドバイスを行った。
332	獨協大学	おやこ大学	平成22年度	地域団体(NPO、ボランティア等)	自治体(行政)	その他	獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターでは、初めて子育てをする母親の子育て支援を目的とした「しんまいママとあかちゃんのおやこ大学」を開講している。この講座は通年を第1期～第3期に分けて開催しており、平成29年度は「タッチケア(ベビーマッサージ)」「離乳食について」「スクラップブック」「絵本の楽しみ方」をプログラムとして扱った。
333	獨協大学	草加せんべい振興協議会国際PR事業への協力	平成29年度	産業界(企業等)	自治体(行政)		東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、草加せんべいの国際的PR、かつ農林水産省が行う地理的表示保護制度(GI)への登録をめざして草加せんべい振興協議会が開催するイベント「せんべいの巨大モザイクアート作り」に、本学留学生が広報、運営、通訳等で協力した。
334	獨協大学	県内学校への留学生派遣	平成24年度	幼保・小・中・高等学校等			依頼に応じ初等・中等教育における国際理解の授業等に本学留学生を派遣し、母国についての説明、文化紹介を行っている。最も古くから派遣しているのは、埼玉県立草加高等学校(平成24年から)。平成29年度はこの他に埼玉県立庄和高等学校、草加市立花栗中学校、同花栗南小学校、草加市さくら保育園にも派遣した。
335	獨協大学	埼玉県「大学連携普及啓発活性化事業(省エネ・省CO2PR事業)」	平成29年度	自治体(行政)			大学連携普及啓発活性化事業(省エネ・省CO2PR事業)は、家庭部門のCO2削減を図るため、現役の大学生等が同世代の若者が共感できる省エネ・省CO2PR事業を自ら企画・実施する事業。獨協大学では、「エッグキャンドルナイト」「街中に広げよう！ゴーヤによる緑のカーテン」「旬の野菜カレンダーで省エネ・省CO2に貢献しよう！」「日本の伝統文
336	日本保健医療大学	日本保健医療大学公開講座	平成22年度	自治体(行政)	その他		本学の教育・研究成果を広く社会に公開し、市民の健康福祉・文化の向上に資するということを目的として、地域住民対象に公開講座を開催している。今年度は1回、メインテーマ「未来につなぐ幸せの手」とし、2講座 講演1:「世代をつなぐ未来へ伸びるまちづくり」「あきらめない子の育て方」を開催した。
337	人間総合科学大学	高校生に対する食育活動	平成28年度	幼保・小・中・高等学校等			埼玉県立伊奈総合学園高等学校の3年生に対し、高校生の食事と健康に関する講義を担当した。
338	人間総合科学大学	野菜の植え付け・収穫体験	平成20年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)		若手農家と栄養学を学んでいる学生との交流から、地域の新たな活性と双方の知識を高めることを目的としている。吉川市役所および吉川市4Hクラブの方々と協働により、畑作りから始め、野菜の植付け体験、野菜の収穫体験を実施している。収穫した野菜は、本学の学園祭で販売し、また、吉川市市民祭りでは、その野菜を用いて豚汁を作り、販売した。
339	人間総合科学大学	人形の里 区民総合芸術祭への参加	平成26年度	自治体(行政)			埼玉県さいたま市岩槻区が主催し、毎年2月上旬に開催されるイベントで、主軸となる「アート」のもとに、複数の人やイベントをつなぎ合わせている。本学では、第2回より「大学市民交流祭」として参加している。H29年度は2月24・25日の予定

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
340	人間総合科学大学	第1回はみんぐこども祭り	平成28年度	地域団体 (NPO、ボランティア、自治会等)	幼保・小・中・高等学校等		「はみんぐ訪問看護ステーション」が企画し、共催。重度の障害を持ちながらも地域で療養する子どもを支える訪問看護ステーション作りを目指し、埼玉栄高等学校吹奏楽部による演奏やモナリ座による人形劇、そして本学看護学科保健師選択コースの3年生達がボランティアとして参加し、会を盛り上げました。学生たちは、臨地実習とはまた違う笑顔を見せながら子どもたちや訪問看護ステーションのスタッフと交流した。
341	人間総合科学大学	埼玉県・身体障害者更生相談所の補装具に関する相談・判定	平成23年度	自治体(行政)			埼玉県の補装具に関する相談・判定業務に、本学のリハビリテーション学科義肢装具学専攻の義肢装具士資格を有する教員が、義肢装具の専門家として参加し、さいたま市を除く県内の障害者に対する行政サービスに携わっている。
342	人間総合科学大学	女性活躍推進に関する大学生向け出前講座の実施	平成29年度				埼玉県産業労働部ウーマノミクスプロジェクトにおける出前講座。女性活躍推進に向けた「これから求められる男女の働き方」が、学生自身のものとなるよう実施するもので、H29年度は1月18日に本学岩槻キャンパスにて行った。
343	人間総合科学大学	子ども大学はすだ・しらおか	平成28年度	自治体(行政)	地域団体 (NPO、ボランティア、自治会等)	産業界(企業等)	蓮田市と白岡市の小学校4～6年生を対象に大学での学びを体験してもらおう企画。平成24年度に開始した子ども大学いわつき・はすだを発展的に継続させて現在に至っている。平成28年度は、①「パラリンピック」について知ろう！(富永修一)、②「防災」について知ろう！(蓮田市青年会議所・蓮田市消防署)、③「食」について知ろう！(玉木雅子)、同「大学の学園祭を楽しもう！」、④「農業体験！～埼玉県特産クワイを収穫しておいしく食べよう！」(くわばら産地づくりの会)を実施した。平成29年度は①:「心理テストで自分を知ろう！」(島田涼子)、②:「エコってな～に？リサイクルを知って地球を守ろう～ガラスの華麗なる変身～」(蓮田白岡環境センター、ガラスリソーシング株式会社)、③「忍法、ヤキソバ七変化の術!?～色を変える魔法のエッセンス～」(中西由季子)、④「心臓ってどんな音？聞いて、触って体験しよう！」(久住武ほか)⑤農業体験！ 埼玉県特産 クワイ掘り(くわばら産地づくりの会)を実施した。
344	人間総合科学大学	子ども大学 SAITAMA	平成27年度	地域団体 (NPO、ボランティア、自治会等)	大学・短大 (大学・短大間連携)		芝浦工業大学や、のびのびファーム、本学などが協力して展開している、さいたま市を対象とする子ども大学。平成28年度は、本学は6年生対象に「はてな学」を担当し、蓮田キャンパスにおいて「心臓がどきどきするのはなぜ？ 聴診器で心臓の音を聞いてみよう」(久住武)を実施した。平成29年度は、4～6年生を対象に「ブロッコリーからDNAを取り出してみよう！」(平子哲史先)を担当した。
345	人間総合科学大学	蓮田市まち・ひと・しごと創生有識者会議	平成27年度	自治体(行政)	地域団体 (NPO、ボランティア、自治会等)	産業界(企業等)	国が推進する地方創生を具体的に地方自治体がどのような進めるべきかについて、自治体を中心となって蓮田市青年会議所や蓮田市商工会青年部、埼玉県利根地域振興センター、埼玉りそな銀行らが会議を重ねた。その中で本学は議長を担当した。会議の結果は「蓮田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に結実した。平成28年度は、その成果としての進捗状況や地方創生関連交付金事業について検討し、PDCAサイクルの一環として検証・評価、今後の改善策について議論する。平成29年度も引き続き中山和久が会長を委嘱され、2017年度の進捗状況の報告およびチェックの会議を1月16日に行った。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
346	人間総合科学大学	蓮田市市民大学	平成28年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)		平成9年から蓮田市が実施している市民大学に、平成28年度から本学も講義を担当することになった。健康生活、一般教養、郷土学習の3本柱で、毎回30名の市民を対象に、計20回の講義が展開されているが、本学は一般教養の枠で、平成28年度は2月10日に「食育」をテーマに講義を実施した。平成29年度は「生活習慣病を予防する健康な食事」をテーマに、白石弘美が1月12日に中公民館にて講義を行った。
347	人間総合科学大学	生涯学習特別講義	平成17年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	産業界(企業等)	現代の少子高齢社会に生きる私たちの生涯健康をテーマに、毎回テーマを変えて学外から専門家を招き、本学教員を交えたディスカッションも含める内容で年2回実施している。平成28年度は7月2日の「今を生きぬく力とこころ・からだ」で、十文字学園女子大学の池田まさみ先生を招いて「心の“免疫力”をあげる—認知心理学の視点から考える」を中心に4講義を実施。また、12月3日の「食の作りだすみんなの未来」では、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構の山本(前田)万里先生を招いて「健康食品のことは知っていますか?—食品の安全・安心から機能性まで—」を中心に3講義を実施した。平成29年度から「生涯学習公開講座」とし、7月と12月に実施した。3月31日には初めて遠隔システムを利用し、蓮田キャンパスでの講演の模様を、岩槻キャンパスで放映する予定。
348	人間総合科学大学	みどり市市民講座	平成28年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)		笠懸公民館主催。「すぐ友講座」として市民に親しまれている講座の最初を飾る公開講座にて本学副学長の久住武が「今を生きぬく力～老いに至りて楽しみを増す～」を講演した。他の回では喫茶店経営の小林宏さんがコーヒーについて講義をするなど、市民に身近な話題が提供されている。
349	人間総合科学大学	杉戸町食育推進講演会	平成28年度	自治体(行政)			杉戸町食育推進講演会として、町民に食を通じた健康づくりの普及啓発を行う。講義内容は「いわゆる健康食品の分類について」。特定保健用食品や栄養機能食品、機能性表示食品など、健康食品とはどのようなものかについて説明し、健康づくりには健全な食生活、適度な運動、休養が不可欠であることを加える。
350	人間総合科学大学	埼玉県国民健康保険団体連合会への協力	平成26年度	その他			「日本再興戦略」(H25年閣議決定)により各医療保険者が策定することとされたデータヘルス計画を、埼玉県の各市町村国保および職域国保が作成するにあたり、埼玉県国民健康保険団体連合会が支援のための委員会(保健事業支援・評価委員会)を設けている。本学教員が、委員に選任され、学識経験者として専門の立場から助言を行っている。
351	人間総合科学大学	さいたまヘルスケア産業創出委員会	平成27年度	産業界(企業等)	自治体(行政)		埼玉の医療供給不足という課題解決に向け、新たなヘルスケア産業を創出し、地域の「まち・ひと・しごと」が元気な「さいたま市」の実現を図ることを目的としている。H28年9月7日に「さいたま健康プロジェクト88 食の適塩講座」を開催し、12月3日には「ナトカリ食の試食会」を実施した。H29年度は、企業(5事業所)と本学が連携し、ナトカリ調味料を使用した新商品・レシピの開発を行い、ランチメニューや商品の販売を行っている。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
352	人間総合科学大学	彩々楽グループ、人間総合科学大学農業サークルコラボランチ	平成28年度	産業界(企業等)			地元農家から購入する埼玉伝統野菜と農業サークルが栽培し、収穫した京野菜を彩々楽様に供給し、その食材を使用した料理を提供して頂いた。
353	人間総合科学大学	蓮田市朝市	平成28年度	自治体(行政)	産業界(企業等)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	日曜日朝に開催される朝市で、農業サークルが栽培し収穫した野菜を販売した。H29年は7月2日に6名の学生が参加した。
354	人間総合科学大学	蓮田農産物加工利用	平成27年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			近隣の農産物生産者より、市場規格からはずれてしまう農産物をご提供いただき、農業サークルにて加工食品を作成し、販売した。H27年度は「夏みかんのフロマージュ」
355	人間総合科学大学	さいたま市食の安全委員会委員	平成28年度	自治体(行政)			さいたま市食の安全委員会の構成委員として、委員会活動に参加した。
356	人間総合科学大学	さいたま市食育推進協議会委員	平成26年度	自治体(行政)			さいたま市食育推進協議会の構成委員として、委員会活動に参加した。
357	人間総合科学大学	さいたま市学校栄養職員研修会	平成24年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等		さいたま市教育委員会からの依頼で、毎年、8月に実施される「新規採用学校栄養職員・栄養士研修会」、「学校栄養職員・栄養士5・10年経験者研修会」において「食文化と学校給食」についての講義を担当している。
358	人間総合科学大学	認知症サポーター養成講座	平成29年度	地域団体(NPO、ボランティア等)			岩槻社会保険福祉協議会地域包括支援センターのキャラバンメイト(講師役)を予定。3月9日に講義を行う予定。
359	人間総合科学大学	埼玉大学学園祭における食育活動の実施に関するボランティア派遣	平成29年度	自治体(行政)			H29年11月26日に埼玉大学学園祭(むつめ祭)子ども企画への出店ボランティアを学生に募り、食育かるたで6名が参加した。
360	人間総合科学大学	学生提案フォーラム inさいたま	平成28年度	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)		さいたま市を住みやすい、これからも住み続けたいと思ってもらえるような、若い世代を引き付ける魅力的な取り組みについて、創造的な政策を提案する。H29年度は11月19日に開催され、3チーム27名が参加した。
361	人間総合科学大学	岩槻区区民会議	平成29年度	産業界(企業等)	大学・短大(大学・短大間連携)		教員・学生・区民会議委員が協力し、地域の課題解決に活かす手法を検討していくもの。H29年度は、1月30日に区民会議委員が本学を訪問した。
362	人間総合科学大学	少子化対策の委託研究	平成29年度	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)		さいたま市から委託された少子化対策について、H29年12月1日に本学と芝浦工業大学が連携し行った。
363	人間総合科学大学	あらゆる歩行環境に最適な義足インテリジェントレッグの開発	平成28年度	地域団体(NPO、ボランティア等)	産業界(企業等)		さいたま商工会議所やさいたま市内の企業とともに、介護・福祉機器等開発研究会プロジェクトを組み、義足の研究から事業化へ向けての開発を行う。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
364	人間総合科学大学	そごう大宮30周年記念イベント「おいしいヘルシープロジェクト」	平成29年度	産業界(企業等)			本学の学生が、開発目標に見合った「おいしくて健康的な食事」を考え、「メニュー開発コンセプトシート」を作成。そごう大宮店に属するレストランやお弁当販売企業とメニューを決定・開発する
365	人間総合科学大学	蓮田市総合振興計画審議会	平成28年度	自治体(行政)			蓮田市長の諮問に応じ、蓮田市総合振興計画の策定、その他その実施に関し、必要な調査及び審議を行うもので、H29年度も引き続き鈴木はる江が委員長として委嘱されている。
366	人間総合科学大学	遠隔授業システムを利用した双方向型遠隔授業システムの提供	平成29年度	自治体(行政)			蓮田市の「第5次総合振興計画」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げられた同地域の「健康で安心・安全な暮らし」を支援することを目的に、本学の教育実践である心身健康科学教育の提供、さらに通信教育課程「心身健康科学科」で蓄積した生涯教育の実績を活用しながら、共同企画による心身健康リテラシー向上をはかることを目的とするもの。H29年度は3月31日に本学蓮田キャンパスで行う生涯学習公開講座の様子を、岩槻キャンパスでも放映する。
367	人間総合科学大学	ガイドマップの作成	平成29年度	自治体(行政)			蓮田市に転入してきた人に配布する、生活ガイドマップの作成。本学の学生が主体となって原案を作成し、蓮田市はアドバイスや広告収入による製本の支援を行う。
368	人間総合科学大学	義足ソケットデザインの工学的アプローチに関する研究	平成29年度	大学・短大(大学・短大間連携)	産業界(企業等)		医療画像を用いた義足ソケットデザインの工学的アプローチに関する研究を芝浦工業大学と連携し行った。
369	人間総合科学大学	第3回さいたま国際マラソンボランティア参加	平成29年度	自治体(行政)			さいたま国際マラソン組織委員会からの依頼で、学生50名・教員3名のボランティアが参加し、飲料水の配布等を行った。
370	文教大学	越谷市シルバーカレッジ	平成21年度	自治体(行政)			越谷市在住の60歳以上の方を対象に、生涯学習の一環として学習の機会を提供する。 8月30日(水) 宮沢賢治作品の世界性 10月4日(水) 宮沢賢治と温泉・花壇 ※上記2回 講師: 教授 鈴木健司 10月11日(水) 貝原益軒の「養生訓」から学ぶ① 10月18日(水) 貝原益軒の「養生訓」から学ぶ② ※上記2回 講師: 名誉教授 金子俊
371	文教大学	子ども大学こしがや・まつぶし	平成22年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	大学・短大(大学・短大間連携)	H25年度までは「子ども大学こしがや」H26年度より「子ども大学こしがや・まつぶし」 越谷市及び松伏町在住の小学生に発展的な学習の機会を提供するため、本学および他の団体が連携し、「はてな学」「ふるさと学」「生き方学」をテーマにリレー講座を実施している。 10月14日(土) アフリカを知ってみよう 人間科学部教授 中村博一 10月21日(土) 川の環境と生き物 教育学部教授 出井雅彦

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
372	文教大学	親子科学教室	平成15年度	地域団体 (NPO、ボランティア、自治会等)			NPOとの共催で、夏休みに公開講座として開催している。実験を伴い、自由研究への導入としても役立つ内容を提供する。また、親子で参加していただくことで、大人にも発見のある講座となっている。 7月22日(土)もしも原子が見えたなら・しゅぼしゅぼー分子模型と浮沈子づくり NPO埼玉たのしい科学ネットワーク講師
373	武蔵野音楽大学	入間市 市民コンサート	昭和55年度	自治体(行政)			文化事業の一環として、入間市民にクラシック音楽鑑賞の機会を提供することを目的(協定内容)として昭和55年度(1980)に開始した。長年にわたり親しまれ続け、今年度(平成29年度)で38回目を迎えた。現在では入間市教育委員会入間市立中央公民館が主催し、「市民コンサート」として市民に広く定着している。例年10月下旬から11月中旬の間に、両者で検討のうえ日時・会場を設定している。
374	武蔵野音楽大学	埼玉県 西部地区音楽祭	昭和55年度	幼保・小・中・高等学校等			例年、11月の4日前後を開催日として、本学のコンサートホール「バッハザール」を開放し、地域の高等学校音楽祭が開催されている。開催日の各日に本学教員がパイプオルガン演奏や、参加者全員の合唱の伴奏(オルガン)を行うことにより、体験学習の一翼も担っている。平成29年度は江古田新キャンパスの建て替えも終了したため、これまで通り11月に4回開催された。
375	武蔵野音楽大学	入間市・武蔵野音楽大学連携コンサート	平成24年度	自治体(行政)			平成29年度より大学、大学院が全て江古田キャンパスで学修することになり、入間キャンパスでの演奏会を実施しなかったため、残念ながら平成29年度の連携コンサートは行われなかった。
376	武蔵野音楽大学	クリスマスコンサート	平成10年度	産業界(企業等)			読売新聞所沢センターとの連携事業で、毎回本学より優秀な演奏者を派遣し、読売新聞購読者に対しクラシック音楽に親しむ機会を提供している。例年は7月下旬に「真夏の夜のコンサート」と合わせて年2回実施していたが、平成28年度からは主催者の都合により12月の「クリスマスコンサート」のみの実施となった。
377	武蔵野音楽大学	入間市立西武中学校合唱祭	平成19年度	幼保・小・中・高等学校等			例年10月～11月にしない近隣の中学校が開催する合唱祭に本学のコンサートホール「バッハザール」を提供している。毎年、主催者の要望に応え、本学より演奏者をゲスト出演させているが、平成29年度は声楽の演奏の依頼があり、大学院に在籍する優秀な学生の演奏を提供した。
378	武蔵野音楽大学	入間市立野田中学校合唱祭	平成21年度	幼保・小・中・高等学校等			例年10月～11月に市内近隣の中学校が開催する合唱祭に本学のコンサートホール「バッハザール」を提供している。主催者からの要望があった場合は、本学より演奏者をゲスト出演させているが、平成29年度は依頼が無かったため会場の提供のみとなった。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
379	武蔵野音楽大学	日高市教育委員会「新春ファミリーコンサート」	平成19年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)		日高市教育委員会(生涯学習課)と日高市文化協会が共催の日高市民を対象とした「新春ファミリーコンサート」。毎年日高市文化体育館ひだかアリーナ(サブアリーナ)で開催されている。主催者の要望に可能な限り応えるよう、学内より優秀な学生を選抜して実施している。平成29年度は日高市教育委員会(生涯学習課)のみの主催で実施され、バス・バリトン独唱、ピアノ独奏、室内楽(ピアノ・ソプラノ・フルート・サクソフォン)の演奏を行った。
380	武蔵野音楽大学	子ども音楽大学いるま	平成25年度	自治体(行政)			「子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会や文化芸術に触れる機会を提供する」目的で、「子ども音楽大学いるま」と銘打って、入間市教育委員会生涯学習課との連携により、地域の小学生(4年生～6年生)30名を対象に9月～10月の3日間実施した。平成29年度の講義内容は「楽器のしくみ」「楽器の製作と音出し」「楽器で世界を旅しよう」「江古田新キャンパスを見学しよう」「作曲にチャレンジ～作曲家の気持ちになってみよう～」「パイプオルガンってなあに?」「作った曲が“音”になる～作曲家の喜びを味わおう～」と、音楽大学ならではの内容となっており、参加した児童にとって貴重な知識や体験の機会を提供している。
381	武蔵野音楽大学	クリスマスコンサート	平成28年度	産業界(企業等)			平成28年度に初めて企画されたコンサート。主催は入間市立図書館西武分館指定管理者の㈱ヴィアックス。同図書館内の視聴覚室を利用し、近隣在住の市民が気軽に音楽に触れる機会を作ることが目的。平成29年度はソプラノ、ピアノ、フルート、サクソフォンによる室内楽の演奏を提供し大変好評を頂いた。
	武蔵野音楽大学	入間市文化創造アトリエ・アミーゴ アフタヌーンコンサート	平成26年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			入間市の公共施設「入間市文化創造アトリエ・アミーゴ」は、市民のNPOによる運営で、演劇、音楽、古典芸能、アートなどの文化芸術分野で様々な事業を展開している。同じ入間市内にキャンパスを持つ音楽大学として、市民にクラシック音楽に親しむ機会を提供すると共に、地元出身の若い演奏家を応援するコンサートとして、本学ヴィルトゥオーゾコースの学生を中心とした演奏会を毎年開催し、市民から好評を得ている。
383	武蔵野音楽大学	彩の国いきがい大学和光学園	平成28年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			彩の国いきがい大学は県内に在住する高齢者に対し、学習機会を提供し広く仲間づくりを行いながら、心身の健康や社会参加によるいきがいを高め、併せて地域活動の推進のために必要な人材の育成を図ることを目的とし、平成29年度は合唱や音楽の歴史などをテーマに講習・指導を行った。
384	武蔵野学院大学・武蔵野短期大学	公開講座	平成29年度				宇宙航空研究開発機構(JAXA)名誉教授、NPO法人子ども・宇宙・未来の会理事平林久氏による講義。演題は『不思議なブラックホールの話』ブラックホールがいろいろな方法で観測され、大きな謎が見えてきました。日時は平成29年10月21日(土)10:00～12:00
385	武蔵野学院大学・武蔵野短期大学	公開講座	平成29年度				宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究所企画・広報係、NPO法人子ども・宇宙・未来の会会長 並木道義氏による講義演題は『太陽系と地球型惑星のお話し』銀河の中の小さな太陽系、その中で生命が存在している地球。この地球の近くにある地球型惑星はどのように誕生したのでしょうか?日時は平成29年10月22日(日)10:00～12:00

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
386	武蔵野学院大学・武蔵野短期大学	高大連携事業(コラボレーション講座)	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			本学のコラボレーション講座(授業)を9回(平成29年5月20日～平成29年7月15日の間)、高校生が受講する事業であり、高校では単位認定している。具体的には、埼玉県立の近傍地域の4校及び、私立1校である。
387	武蔵野学院大学・武蔵野短期大学	元気な地域を創造する子ども大学推進事業(子ども大学さやま)	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体(行政)	産業界(企業等)	子どもの学ぶ力や生きる力の向上及び自治体、大学や企業などの連携による地域の教育力の向上を目的とした事業である。平成29年10月7日(土)～平成29年12月16日(土)の間の5日間(全5回)、講義を行なう。対象は狭山市内在住の小学4,5,6年生である。
388	明海大学	子ども大学にしているま	平成24年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)	大学、市、町、県が連携し、大学教授等プロフェッショナルが小学校で教えないような課題を大学で教えるという、子ども(5～6年生)の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供する。 以下の2分野の講義を基本としている。 1.ものごとの原理やしぐみを追求する「はてな学」 2.自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」
389	明海大学	病診連携と登録医制度	平成15年度	その他			埼玉県歯科医師会の各郡市歯科医師会と連携し、登録医の患者紹介による診療、診断の補助、共同診療など効率的な医療の推進。 明海大学歯学部メディアセンター利用や研修会、セミナーへの参加。
390	明海大学	図書館の施設開放	平成9年度	その他	その他		病院病診連携にかかわる登録医への図書館開放
391	明海大学	坂戸市と女子栄養大学、城西大学及び明海大学の坂戸市民の健康づくりに関する連携協力協定に基づく事業	平成18年度	地域団体	自治体	大学等	坂戸市は、市民の多くが首都地域で働く、典型的なベッドタウンである。そのため、団塊の世代の退職者が増加するに連れ、急速に高齢化が進む可能性が高く、「生活習慣病予防」の対策を積極的に行うことが大変重要な時期にある。現在、明海大学歯学部は、「食を通じた健康づくり応援店」の認定審査に参加している。
392	ものづくり大学	おもしろものづくり教室	平成20年度	自治体(行政)			行田市民の小学生から大人までを対象に、ものづくりの楽しさや面白さを実感してもらう。また、ものづくり大学の「技術および知的資源」を活用した事業を実施することにより、行田市における教育環境等の充実に寄与することを目的とする。教室は平成29年7月～10月まで、全6回行った。 平成29年度: 7月2日「ちょっと便利なプランターテーブルをつくってみよう」 7月9日「ロボハンドを作ろう!」 7月22日「タイルコースターを作ろう! -塗装とタイルはりを体験-」 8月26日「アイスクリームを食べやすいスプーンをつくろう!」 8月27日「家で使える黒板をつくろう-のこぎり・釘打ち体験-」 10月28日～29日「楽しい竹細工教室」

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
393	ものづくり大学	公開講座	平成13年度	自治体(行政)	その他		<p>本学の理念等を広く社会に周知させるとともに、地域の文化の向上、活性化に資することを目的とする。</p> <p>行田市民を対象とする「市民特別公開講座」と、県民全体を対象とする「特別公開講座」について、講師を招いて講演を行う。</p> <p>平成29年度： 市民特別公開講座：10月29日(日)に本学で実施。「世界遺産から日本遺産まで－文化と地域の関係について考える－」(稲葉信子氏) 特別公開講座：3月1日(木)、大宮で実施予定。「宇宙生命は存在するか？－天文台からのアプローチ－」(渡部潤一氏)</p>
394	ものづくり大学	子ども大学ぎょうだ	平成22年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)		<p>大学や市町村、企業・NPOが連携して、地域の子ども(小学校4～6年生)の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供するものである。小学校で教えないような課題を取り上げ、一部講義を本学教員が担当している。全日、本学職員が参加している。</p> <p>平成29年度： 7月8日(土)入学式、「おもしろ映像をつくろう！①～撮影と動画製作の技術を学ぶ～」、「おもしろ映像をつくろう！②～撮影と動画製作の技術を学ぶ～」 7月22日(土)「科学遊びをしよう①バランスやじろうべえ②おばけぶくろ」 7月29日(土)「行田の足袋づくりの世界を体験しよう～行田の足袋の今と昔を再現～」 8月26日(土)学園祭準備 9月23日(土)「ポケットの中の小さなオーケストラ！！～ハーモニカ演奏の世界を再現～」 「家の形・部屋の間取りを考えよう！」、修了式 10月15日(日)学園祭</p>
395	ものづくり大学	マンガカーレース大会	平成14年度	自治体(行政)	その他		<p>日本機械学会関東支部埼玉ブロックとの共催、行田市教育委員会の後援により実施している。</p> <p>電池を使用した簡易な車の模型を作成し、コースで走らせることで、小学生に“考えて作る”機会を与え、ものづくりの楽しさを実感してもらおうと同時に、工夫して機械の性能向上を考察する体験を通じて科学技術への興味を促している。</p> <p>一方で、イベントの企画運営・小学生への指導などを大学生主導で行わせることにより、ものづくり活動の疑似体験、および社会に貢献する満足感を与え、さらにはコミュニケーション能力の向上を図っている。</p> <p>平成29年度： 10月21日～22日事前工作教室 10月28日～29日学園祭当日に工作教室およびレース大会</p>
396	ものづくり大学	みんなで作る公園整備事業	平成16年度	自治体(行政)			<p>本学で制作したベンチや東屋等を無償で行田市に提供している。</p> <p>平成29年度： 東屋1基を提供 行田市棚田砂原公園へ設置</p>

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
397	ものづくり大学	行田市民大学	平成21年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)		行田市民大学への学内施設の貸出(年間17日)および講師派遣 平成29年度: 5月11日:記念講演 6月8日:まちづくり～地域を知ってアイデアを出そう 6月29日:ミストによる屋外冷房 9月28日:元気の出るまちづくり 11月6日:郷土の歴史「旧成田領に残る歴史遺産」 11月30日:見て感じて理解する日本の建築 ー美術館、博物館をめぐる
398	ものづくり大学	小学生を対象とした木工教室	平成20年度	幼保・小・中・高等学校等			行田市の小学校で本学教員・学生による「木工教室」を開催している。 鉋(かんな)・鋸(のこぎり)・玄翁(げんのう)といった大工道具の使い方を学び、それぞれのグループに分かれて実際道具を手にし、実際に木材を削ったり、切ったり、釘を打ったりする作業を体験した。 29年度: 6月4日(日)南小学校 11月10日(金)泉小学校
399	ものづくり大学	夏休み体験教室	平成28年度	その他			ユニクス鴻巣管理事務所の要望により、小学生を対象とした木工教室を開催した。建築研究会の学生が家の形の木の小物入れの製作を指導した。 平成29年度: 8月19日(土)ユニクス鴻巣
400	ものづくり大学	子ども大学こうのす	平成25年度	自治体(行政)			大学や市町村、企業・NPOが連携して、地域の子ども(小学校4～6年生)の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供するものである。小学校で教えないような課題を取り上げ、一部講義を本学教員が担当している。 平成29年度: 11月18日(土)「補強すると建物はこんなに強くなる!～ペーパーハウスの模型実験～」
401	ものづくり大学	JCM埼玉親子ものづくり教室	平成29年度	その他			金属産業労働組合協議会 埼玉の依頼により、本学にて親子を対象とした以下のものづくり教室を開催した。 ・平成29年9月2日(土)「タイルコースターを作ろう!-塗装とタイルはりを体験-」
402	ものづくり大学	彩の国いきがい大学伊奈学園	平成29年度	自治体(行政)			公益社団法人いきいき埼玉 彩の国いきがい大学伊奈学園の依頼により、県民活動総合センターにて以下の講演等の協力を行った。 ・平成29年9月28日(木)「千年村を探そう～千年村プロジェクト～」
403	ものづくり大学	彩の国いきがい大学熊谷学園	平成29年度	自治体(行政)			公益社団法人いきいき埼玉 彩の国いきがい大学熊谷学園の依頼により、学内施設の貸出しおよび以下の講義等の協力を行った。 ・平成29年11月24日(金)「世界遺産に認定された建築家ル・コルビュジエについて」

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
404	ものづくり大学	行田商工祭・忍城時代祭りへの出展協力	平成28年度	地域団体 (NPO、ボランティア、自治会等)			行田市商工会議所の要望により、小学生を対象とした木工教室を開催した。建築研究会の学生が家の形の木の小物入れの製作を指導した。 平成29年度: 11月12日(日)実施
405	ものづくり大学	吹矢の的的制作	平成29年度	地域団体 (NPO、ボランティア、自治会等)			行田市の自治会からの依頼により、建築研究会の学生が「吹矢の的」の制作協力を行った。
406	ものづくり大学	鴻巣おもちゃの病院との連携	平成23年度	自治体(行政)	地域団体 (NPO、ボランティア等)		本学学生が鴻巣市社会福祉協議会主催の「鴻巣おもちゃの病院」に参加して、鴻巣児童センターや箕田児童センターにおいて、おもちゃの修理を担当している。また、本学の大学祭においても平成24年度から「おもちゃの病院」を開院している。
407	ものづくり大学	上尾シラコバト住宅の共助による活性化推進事業	平成26年度	自治体(行政)			埼玉県とものづくり大学が連携協定を結び、高齢化が進む「上尾シラコバト住宅」に若さと活気を取り戻すことを目的に、事業に取り組む。 平成29年度は、大学院生2名が入居しており、団地の活性化を推進する活動を行った。
408	ものづくり大学	埼玉県立防災学習センターでの講演・出展協力	平成28年度	自治体(行政)			展示物の貸し出しや、以下の講演等の協力を行った。 ・平成29年9月18日(月)講義:タイルコースターを作ってみよう
409	ものづくり大学	埼玉県立総合教育センター「センター探検隊」		自治体(行政)			埼玉県立総合教育センターの事業「センター探検隊(センター一般公開)」に協力し、一般市民向けのものづくり教室を実施した。 平成29年度: 10月14日(土):「コンクリート人形を作ろう!」
410	ものづくり大学	授業製作物の寄贈	平成13年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等		授業製作物である木製ベンチ、東屋、プランターなどを、主に公共施設に寄贈している。
411	ものづくり大学	埼玉国際学園との連携	平成26年度	その他			熊谷にある日本語学校である埼玉国際学園との連携協定に基づき、見学の受入れや、留学生の紹介などを行っている。
412	ものづくり大学	図書館と県民のつどい	平成24年度	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)	幼保・小・中・高等学校等	埼玉県図書館協会主催による県内図書館のイベント。大学図書館の展示のほか、講演会、子ども読書活動交流集会による分科会、公共図書館、大学・学校図書館の展示が行われた。 平成29年度: 12月17日(日)「総合機械学科 ものづくりの科学・技術とアート・感性の融合」 本学所蔵の図書や見本、紹介パネルを展示いたしました。 場所:桶川市民ホール・さいたま文学館 1階 ギャラリー1、2

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
413	ものづくり大学	リカレント教育	平成22年度	自治体(行政)			県と大学が協力して、県内在住の高齢者や団塊の世代の方々に対し、授業科目の一部を受講できるよう開放する。 平成29年度:受講者3名
414	ものづくり大学	中学生の職場体験	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			平成29年7月12日～14日 鴻巣市立吹上北中学校2年生4名が「平成29年度鴻巣市中学生社会体験チャレンジ事業」として本学の学生食堂で職場体験を実施した。
415	ものづくり大学	県内各種団体による大学見学	平成13年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体(行政)	産業界(企業等)	下記の自治体・行政による視察や、学校等の社会科見学のための大学見学を受け入れた。 ●熊谷直実市民大学 日時:平成29年5月18日 ●行田市長野公民館 男性学級 日時:平成29年10月3日 ●東京矯正管区、関東甲信越静地区所在刑事施設の長、及び当所職員 日時:平成29年10月19日 ●埼玉弘済会 北足立支部 日時:平成29年11月13日 ●行田商工会議所 日時:平成30年3月13日
416	ものづくり大学	インターンシップ	平成14年度	産業界(企業等)	地域団体(NPO、ボランティア等)	自治体(行政)	製造学科では、製造業全般の生産現場におけるものづくりの実務体験を行う目的で3・4年次は選択科目としてインターンシップを実施している。3年次のインターンシップAでは実働40日間、4年次のインターンシップBでは20日間または40日間の実習を行う。 建設学科では、建設現場もしくは事務所等に長期間所属し、建設業の諸相について学ぶ事を目的とし、2・4年次に実施している。2年次の基礎インターンシップでは必修科目として実働40日間、4年次の専門インターンシップでは、実働40日間または80日間の実習を行う。業種・職種を指定した「建築士インターンシップ」「測量インターンシップ」がある。 両学科共に主な実習期間は6月中旬から8月中旬である。 実働40日間のような長期間のインターンシップは、本学の特色の一つとなっている。平成14年度から平成29年度まで、インターンシップを行った学生は述べ5,469名となっている。
417	ものづくり大学	県民の日 高校生「学び」夢プラン	平成26年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等	その他	埼玉県高等学校進路指導研究会主催の事業。高校生が普段の大学の授業を学生と共に受講することにより、将来の学校や学部選択の参考にし、将来の職業や生き方を考える機会とすることを目的とする。対象は、埼玉県の高校で学ぶ生徒及び高校教員。 ものづくり大学では、平成29年11月14日(火)に授業開放を実施し、高校生2名・教員1名の参加があった。
418	ものづくり大学	(高大連携事業)大学見学	平成13年度	幼保・小・中・高等学校等			高校生の大学見学の受入れを実施。 平成29年度 熊谷工業高校、浦和工業高校、吹上秋桜高校、狭山工業高校、飯能南高校、川越工業高校、久喜工業高校、いずみ高校、上尾橘高校、大宮工業高校、三郷工業技術高校

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
419	ものづくり大学	(高大連携事業)高校生のインターンシップ受入れ		幼保・小・中・高等学校等			教育連携協定を締結している県内高等学校から高校生のインターンシップ受入れを行った。 平成29年度: 進修館高校(1名):平成29年7月27日(木)・31日(月)・8月3日(木)・8日(火) 川口工業高校(5名):平成29年11月15日(水)~17日(金) 大宮工業高校(10):平成29年11月15日(水)~17日(金) 久喜工業高校(4名):平成30年1月22日(月)~26日(金)
420	ものづくり大学	(高大連携事業)ものづくり大学出張授業		幼保・小・中・高等学校等			高校と大学を結ぶ高大連携を目的として、本学の教員が高等学校を伺い、高校生を対象とした出張授業を実施している。 ものづくり大学の授業の一端に触れることで、大学で勉強する内容を知るとともに、ものづくりの楽しさや素晴らしさを感じてもらおうとともに、ものづくりの「技」と「知恵」、そして「心」をあわせもつ有為の人材を育成して、ものづくり産業の発展を目指すという本学の設立の趣旨からも、出張授業がその一助になることを念願している。 平成29年度出張授業実施先高校 岩槻商業高校、進修館高校、浦和工業高校、羽生第一高校、川口青陵高校、児玉高校、埼玉平成高校、狭山工業高校、大宮東高校、滑川総合高校、本庄第一高校
421	ものづくり大学	(高大連携事業)高校生・大学生共同プロジェクト		幼保・小・中・高等学校等			高校生・大学生による共同プロジェクト事業。岩槻市の地場産業であるひな人形をモチーフにしたアクセサリー等の製作。 平成29年度実施:平成29年8月7日(月) 岩槻商業高校(7名)
422	ものづくり大学	ものづくり大学産学連携セミナー	平成28年度	産業界(企業等)			以下のとおり、産業界との共催により企業の経営者等を対象とし講演を実施した。 平成29年度:2月23日(金) 川口信用金庫
423	立教大学	新座市民総合大学	平成12年度	自治体(行政)			新座市の生涯学習推進の一環として、市内の3大学の後援により実施している。 平成29年度は、コミュニティ福祉学部の支援のもと「健康増進学部健康づくり学科(定員40名)」を設置し、1年を通して16回の授業を行った。
424	立教大学	新座市内大学講座	平成9年度	自治体(行政)			新座市からの受託事業として、新座市内大学講座(「教養講座」および「スポーツ教室」)を開催している。新座市民講座は、新座市民の学習機会拡大の一環として、市内三大学(立教、跡見、十文字)が協力し、公開講座の実施を市内の大学に新座市が委託している事業である。本学と新座市が共催で、主に新座市民を対象として実施する。
425	立教大学	子ども大学ふじみ	平成24年度	自治体(行政)			子ども大学ふじみ実行委員会(淑徳大学、立教大学、富士見市青少年育成市民会議、富士見市商工会、富士見市市民人材バンク推進員の会、NPO法人富士見市民大学、埼玉県教育局)主催により、富士見市内在住の小学4~6年生を対象に全7回の講座が開講されている。富士見市教育委員会生涯学習課からの依頼により、平成28年度は「子ども大学ふじみ」に観光学部が1講座を実施した。また、「子どもスポーツ大学ふじみ」には、コミュニティ福祉学部が1講座を実施し、馬術部が乗馬教室を実施した。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
426	立教大学	アスポート参加学生募集説明会の実施	平成24年度	その他			一般社団法人 彩の国子ども・若者支援ネットワークによる、県内の生活保護受給世帯を対象にした支援活動「アスポート」の1分野である「学習支援事業」について、生活保護受給世帯の子どもを対象とした高校進学のための学習教室に参加する学生ボランティアの説明会を学内で実施している。
427	立教大学	飯能信金との経営塾	平成24年度	産業界(企業等)			立教大学ビジネスデザイン研究科と飯能信用金庫が連携して実施する飯能信用金庫の地元企業若手経営者及び後継者を対象とした全18回程度の経営塾を開講している。激変する経営環境に対応した戦略的経営に必要な資質を向上させるための教育プログラムである。飯能信用金庫がプログラム全体の運営を行い、ビジネスデザイン研究科は、各講座の企画・内容を提案・実施し、講師も派遣するなどプログラム運営の支援を行っている。平成29年度からは本店に加え、さいたま中央支店でも同様の講座を実施している。
428	立教大学	アスポート学習支援事業との科目展開	平成26年度	その他			新座市により、アスポート学習支援事業(運営:一般社団法人彩の国子ども・若者支援ネットワーク)が展開されている。大学から「RSL(立教サービ斯拉ーニング)」科目においては、生活保護受給世帯の中高生を対象とする学習支援事業の方針を理解したうえで学生を派遣し、事業運営団体は本学科目の運営方針を理解したうえで学生を受け入れている。
429	立教大学	地域児童の大学への招待	平成21年度	その他			ボランティアセンターが主催となり、学生ボランティア団体が日常の活動で訪問している新座キャンパス近隣の放課後児童保育室(学童保育)の児童を大学に招待する企画を実施している。学生ボランティア団体が共催となり、夏休み(8月上旬)の2日間、遊びのプログラム提供、簡単な工作教室を行っている。平成28年度は8月上旬の2日間で約100人の児童を招待した。
430	立教大学	バリアフリー映画上映会	平成21年度	自治体(行政)			新座市、新座市社会福祉協議会、志木市の後援により、有志の学生実行委員会、ボランティアセンターと市民団体の協力のもと、障がいがあっても誰もが参加できる映画会を行っている。学生が役割分担をして、バリアフリー対応として音声ガイド、手話通訳、文字通訳、最寄り駅から大学までの誘導案内など丁寧に行っている。広く新座市民(特に、映画に行きにくい生活状況下にある方々)に会場を呼びかけ、地域貢献の一助としている。
431	立教大学	室内プール開放事業	平成27年度	自治体(行政)			新座市との協定により、新座市内在住、在勤、在学の中中学生以上の方を対象に、新座キャンパス内の室内温水プールを開放している(原則として年末年始を除く土曜日及び日曜日)。地域社会の体力づくりならびにスポーツ活動の推進に貢献する場として活用している。
	立教大学	ブラジルオリンピックテコンドーチームの受け入れ	平成29年度	自治体(行政)			ブラジルオリンピックチームの施設利用に関する覚書に基づき、テコンドーチームのプレキャンプを受け入れ、地域小学校(新座東北小学校)との交流、地域団体阿波踊りによる壮行会を実施した。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
	立教大学	第3回ライオンズカップ車椅子ソフトボール大会	平成29年度	産業界(企業等)			(株)西武ライオンズとの協定に基づき、ライオンズが主催する車椅子ソフトボール大会へ機材(競技用車椅子)の提供、学生ボランティア派遣を行った。
	立教大学	武蔵野銀行×立教大学産学連携プロジェクト	平成19年度	産業界(企業等)			平成29年度は、立教大学観光学部の教員が実施担当者となり、前年度に実施した観光イベント(スマホARを活用した町歩きの開催等)を継承しつつ、ジオツーリズムや広域ストーリー構築による地域ブランディングを取り入れた観光プロジェクトを核として実施している。
435	立教大学	彩の国いきがい大学「若い世代との交流」	平成19年度	自治体(行政)			埼玉県が高齢者の学習の場として開校。社会の変化に対応できる能力を身につけ、社会参加による生きがいを高め、卒業後は地域活動のリーダーとして活躍することを目的とする。平成29年度は「入間学園」90名を受け入れ、福祉学部の教員およびゼミ学生10名とともにグループワーク、ディスカッション等とともに学んだ。
436	立正大学	立正大学オープンカレッジ	昭和42年度	自治体(行政)			熊谷市と、その周辺都市の住民を対象に毎年前期後期にそれぞれ4回の講座を開催しております。講師陣は立正大学全8学部(仏教・文学・経済・経営・法学・社福・地球・心理)の各学部より1名ずつ出しています。 【平成29年度】 ○前期7月1日(土)～7月22日(土) 4講座 ○後期11月25日(土)～12月23日(土) 4講座
437	立正大学	立正大学デリバリーカレッジ	平成20年度	自治体(行政)			地方の自治体と共催で、毎年春と秋に地域住民を対象にした講座を開催しております。講座の内容は宗教、文学、歴史、社会、経済、経営、法律、福祉、環境、心理などさまざまな分野に及んでおります。 【平成29年度開催都市】 三郷市(埼玉県)筑西市(茨城県)、会津若松市(福島県)、釜石市(岩手県)、茅ヶ崎市・座間市(神奈川県)、千葉市(千葉県)、郡山市(福島県)、佐野市(栃木県)、高崎市・桐生市(群馬県)、新発田市(新潟県) 全12都市
438	立正大学	子ども大学くまがや	平成22年度	自治体(行政)			子どもたちの素朴な疑問や知的好奇心を満足させるため、様々な分野での学びの機会を提供することを目的としております。熊谷市・滑川町の小学生4年生から6年生を対象に、「はてな学」「ふるさと学」「生き方学」について大学の先生や専門の方たちで、わかりやすい授業を心がけております。 【平成29年度】 9月23日(土)～12月16日(土) 5講座62名参加
439	立正大学	立正大学ラグビーフェスティバル	平成20年度	自治体(行政)			市民へのラグビー普及とラグビーを通じた交流、および幼稚園児や小学生などへの指導による学生の社会貢献と人間的成長を目指すために開催しております。【平成29年度】 4月9日(日)

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
440	立正大学	直実市民大学	平成22年度	自治体(行政)			熊谷市から講師依頼を受けて教員を講師として派遣し、市の生涯学習を支援しています。 【平成29年度】2講座開催
441	立正大学	彩の国いきがい大学(熊谷学園)	平成23年度	その他			彩の国いきがい大学から講師依頼を受けて教員を講師として派遣し、市の生涯学習を支援しています。 【平成29年度】11講座開催
442	立正大学	桶川市平成市民大学	平成21年度	自治体(行政)			桶川市から講師依頼を受け、桶川市民の方々に大学生の気分を味わってもらうため、立正大学の教員が講師を勤める講座は熊谷キャンパスで開催しております。 【平成29年度】1講座開催
443	立正大学	行田市民大学	平成21年度	自治体(行政)			行田市民大学からの講師依頼を受けて教員を講師として派遣し、市の生涯学習を支援しています。 【平成29年度】2講座開催
444	立正大学	くましん立正大学ジョイント・カルチャー教室	平成23年度	産業界(企業等)			熊谷商工信用組合との共催で市民に向けた講座を開催。講演の内容については、本学の8学部の特性を活かし文学、歴史から環境、心理に至るまで、幅広い分野になるよう心がけております。 【平成29年度】3講座開催
445	立正大学	産学官連携まちづくりフォーラム	平成18年度	自治体(行政)			熊谷市と共催して地域との関わりについての話題を通して、新たな産業を生み出す力(産業力)を探ることを目的として、市民および企業関係者を対象にフォーラムを開催しています。 【平成29年度】2月17日(土)
446	立正大学	道の駅「めぬま」と妻沼地区との連携促進	平成23年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)		地球環境科学部片柳ゼミの学生が熊谷市妻沼地区の商工会、道の駅「めぬま」と連携して現地でフィールドワークを行い、観光情報の発信を通じてまちづくりを行いました。2014年度には観光パンフレット『めぬま観光読本』を作成し、熊谷市へ贈呈しました。
447	立正大学	日本酒制作プロジェクト	平成26年度	産業界(企業等)			熊谷市で唯一の酒造メーカーである「権田酒造株式会社」と連携し、本学学生がオリジナル日本酒を作成しました。2015年度には熊谷市のふるさと納税贈答品に採用されました。
448	立正大学	東松山市きらめき市民大学	平成22年度	自治体(行政)			東松山市きらめき大学から講師依頼を受けて教員を講師として派遣し、市の生涯学習を支援しています。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
449	立正大学	障がい者スポーツ体験学習会	平成20年度	地域団体 (NPO、ボランティア、自治会等)			本学社会福祉学部学生が講義で学んだ障がい者スポーツ技術を小中学生の参加者に対し実技しています。
450	立正大学	暑さ対策研究日本一支援事業	平成29年度	自治体(行政)			本学地球環境科学部教員が熊谷市からの委託により、市内の気象要素の分析と熱中症発生実態との関連性を精査することで、同市の暑さ対策事業の展開に貢献することを目的としています。
451	早稲田大学	オープンスクール	平成7年度	幼保・小・中・高等学校等			●「脳の研究」について、高校生に体験してもらう。 (ブタの脳の解剖、神経の顕微鏡観察) ※現在は埼玉県内の高等学校と実施している。
452	早稲田大学	所沢市との「協働によるまちづくり」	平成15年度	自治体(行政)			●市の行政活動に大学が保有する知的財産をまちづくりの資源として活かし、豊かな地域社会を創造する。 ●福祉、環境、教育、文化、スポーツ、芸術などの分野において相互に協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与する。
453	早稲田大学	所沢市西地区総合型地域スポーツクラブの支援事業	平成16年度	自治体(行政)			●種目別クラブ活動 ●各種スポーツ教室 ●健康体力相談・測定 ●各種研修会・講演会 ●調査研究 ●会員相互の親睦を深めるための活動 ●その他、クラブの目的達成のために必要な事業
454	早稲田大学	狭山シニア・コミュニティ・カレッジ「生きがい学科」	平成18年度	自治体(行政)			●人間科学部およびスポーツ科学部教員がコーディネートした講座実施(30回) ●授業期間中の毎土曜2限 ●定員30名
455	早稲田大学	所沢市教育委員会並びに早稲田大学人間科学学術院による教育連携	平成19年度	自治体(行政)			所沢市の市立小・中学校へ早稲田大学人間科学部の実習学生を派遣し、学校教育活動の円滑な実施に寄与し、教育現場における体験等を通じて、学生の教育専門職としての意識および教養を高め、学校教育の一層の向上を図る。 実習内容は次のとおり。 ●学習支援 ●その他、学校教育活動に関すること
456	放送大学	秩父校公開講演会	平成20年度	自治体(行政)			放送大学埼玉学習センターの放送教材再視聴施設(秩父校)との連携により、主に秩父在住の市民を対象に公開講演会を秩父市等との共催により実施している。平成29年度については、秩父市、秩父市・小鹿野町教育委員会共催、横瀬町・皆野町・長瀬町教育委員会後援により、「秩父の獅子舞」をテーマに熊谷市文化財保護審議会委員(飯塚 好氏)を講師に迎えH30年3月4日に開催予定である。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
457	放送大学	三郷校公開講座	平成23年度	自治体(行政)			放送大学埼玉学習センターの放送教材再視聴施設(三郷校)との連携により、主に三郷市民を対象に公開講座を三郷市教育委員会との共催により実施している。平成29年度については、「埼玉東部地域の民俗～三郷市域の水に関わる信仰・行事・伝承～」をテーマに板垣 時夫氏を講師として、H29年11月25日に開催した。
	放送大学	公開講演会	平成28年度	自治体(行政)	その他	大学・短大(大学・短大間連携)	本庄市教育委員会生涯学習課及び公益財団法人本庄早稲田国際リサーチパークとの連携及び早稲田大学教務部本庄プロジェクト推進室の後援を得て、主に県北の一般市民を対象に公開講演会を本庄市において開催している。平成29年度については、「女城主直虎 英知と情愛に生きてーその実像と直虎男性説ー」をテーマに作家・山名 美和子氏を講師として、H29年9月16日に開催した。
459	秋草学園短期大学	秋草学園短期大学 平成29年度前期公開講座	平成19年度	自治体(行政)			5～10月、埼玉県、所沢市、狭山市、入間市の各教育委員会の後援を受けて、音楽、健康、心理学、文学、芸術、語学(英語・中国語・韓国語)、パソコンの18講座を開設。
460	秋草学園短期大学	秋草学園短期大学 平成29年度後期公開講座	平成19年度	自治体(行政)			10～3月、埼玉県、所沢市、狭山市、入間市の各教育委員会の後援を受けて、音楽、健康、心理学、文学、芸術、語学(英語・中国語・韓国語)、パソコンの21講座を開設。
461	秋草学園短期大学	子ども大学ところざわ	平成23年度	自治体(行政)			埼玉県、所沢市、市内の大学とが連携して、小学4～6年生の子どもたちが大学で学ぶ機会を提供する。今年度の受講生は100名を超えた。 【ふるさと学】「重松流祭囃子」を楽しむ(9月2日)「狭山茶クッキーをつくろう」(9月9日) 【生き方学】学園祭で成果発表(9月30日・10月7日)
462	秋草学園短期大学	インターンシップ	平成13年度	産業界(企業等)	自治体(行政)		自治体・企業等にインターンシップの受け入れを依頼、5～10日間程度で実施している。修了後単位が付与される。
463	秋草学園短期大学	地域活動(ボランティア)	平成19年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	自治体(行政)	その他	自治体、NPO法人、幼稚園・保育園等からの依頼を受け、学生を派遣する。地域保育学科はボランティアが必修科目とされ、修了者に単位(4単位)が付与される。
	秋草学園短期大学	都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト	平成29年度	自治体(行政)			所沢市との官学連携協定の一環として、不要になった携帯電話等から、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの入賞メダルをつくるというプロジェクトをスタートした。
	秋草学園短期大学	所沢市地産地消推進事業 所沢農産物応援隊	平成28年度	自治体(行政)			所沢市内で生産される農産物の魅力を市内外にPRする「農産物応援隊」として、年間を通じて各地で開催されるイベントに有志学生が参加している。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
	秋草学園短期大学	地域交流活動	平成29年度	地域団体 (NPO、ボランティア等)			新所沢団地自治会と文化表現学科学生との連携。 (実施内容) 1. 自治会主催の「さくら祭り」に参加し、ワークショップ「プラバンアクセサリー作り」実施 2. 自治会コミュニティサロンにおけるポケットティッシュケースの制作・販売 3. 自治会主催行事への参加(セタリース制作・クリスマス・リース制作、飾り付)
467	埼玉医科大学短期大学	高大連携事業	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			高校生に大学の模擬授業を体験してもらうとともに、大学構内の見学を行い、適宜質疑応答を行う。
468	埼玉医科大学短期大学	埼玉医科大学短期大学公開講座	平成29年度	自治体(行政)	その他		遙光祭(学園祭)にて、一般市民を対象とした市民公開講座を開催した。地域高齢者と若者の協働取り組みとして、埼玉医科大学病院健康管理センター、毛呂山町保健センター、社会福祉法人埼玉医療福祉会MORO HAPPINESS館と共催で行った。教員・学生が運営を担った。▲「健康に役立つ 姿勢&歩き方」
469	埼玉医科大学短期大学	埼玉県民の日高校生学び夢プラン	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等	その他		埼玉県高等学校進路研究会と埼玉県私立短期大学協会が行っている「埼玉県民の日高校生学び夢プラン」に協力し、埼玉県民の日に希望する高校生および教員に、通常授業への参加を受入を実施した。
470	埼玉純真短期大学	羽生市学びあい夢プロジェクト協議会	平成22年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等	その他	羽生市内の教育機関(児童福祉施設、保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、短期大学等)と教育委員会が連携して、教育交流を推進し、幼児・児童・生徒・学生及び教職員の成長を促進する活動を行っている。
471	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学市民公開講座	平成21年度	自治体(行政)	その他		6月24日(土)、7月15日(土)、7月29日(土)、8月19日(土)、9月9日(土)の5日間にわたって、一般市民を対象とした市民公開講座を開催した。講座数は25講座。参加人員は590名。講座は埼玉純真短期大学の教職員によるもののほか、市民による「コーヒー教室」や「料理教室」などがある。9月9日(土)には講座参加者による公開講座修了パーティーを開催。あわせてピアノ教室参加者による発表会を行った。
472	埼玉純真短期大学	特別支援教育(発達障害)研究セミナー	平成23年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等	その他	第7回目の特別支援教育(発達障害)研究セミナーを、平成29年11月25日(土)に開催した。 後援:埼玉県、羽生市、加須市、熊谷市、行田市各教育委員会 特別公演「合唱ミュージカル・ライオンキング」埼玉県立特別支援学校羽生ふじ高等学園ほか 講座 ①「音楽・音を楽しむ授業づくり」 ②「発達障がいのある子の困り感に寄り添う」 ③「障がいのある子の教育指導・支援」 ④「障がいのある子の子育てと支援」

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
473	埼玉純真短期大学	子ども大学はにゆう	平成23年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	産業界(企業等)	第7期の「子ども大学はにゆう」を、9月16日(土)、10月21日(土)、11月18日(土)、12月18日(土)の4回にわたって開校した。 参加者:市内の小学校4年生~6年生23名 県の要請による「異年齢交流モデル事業」の一環として、子ども大学の卒業生10名がサポーターとして参加した。
474	埼玉純真短期大学	教員による出前講座		自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	地元羽生市や周辺市町村の小・中・高等学校や地域団体からの要請で、教職員による出前講座を実施している。 主な実施内容 ① 小中学校、高等学校等の教職員研修の講師派遣 ② 羽生市、行田市、加須市教育研修センターへの講師派遣 ③ 児童養護施設職員研修への講師派遣 など
475	埼玉純真短期大学	学生による地域ボランティア活動		地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	自治体(行政)	その他	地元自治体、教育委員会のほか、各種団体からの派遣要請を受け、地域活動をサポートする学生のボランティア活動を推進している。 主な実施内容 ① 県立羽生水族館「スマイル幼稚園」 ② むじなモン学寮in川俣 ③ 三田ヶ谷小学校宿泊合宿 ④ 世界キャラクターさみっとin羽生 ⑤ 五霞ふれあいフェスティバル ⑥ 保育園、幼稚園等のお手伝いなど
476	埼玉純真短期大学	地元小学校1年生児童の1日入学	平成24年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体(行政)		地元の羽生市立羽生南小学校(6月21日)、羽生市立三田ヶ谷小学校、村君小学校(10月10日)、羽生市立岩瀬小学校(11月7日)、羽生市立手子林小学校(11月28日)、羽生市立新郷第一小学校(12月19日)の1年生が、1日留学生として大学生生活体験を行った。
477	埼玉純真短期大学	地元小学生(2年生)の学校見学		幼保・小・中・高等学校等	自治体(行政)		地元の羽生市立岩瀬小学校2年生の「生活」の授業で、「まちたんけん」の見学学習を受け入れ、11月28日にキャンパス見学を行った。
478	埼玉純真短期大学	クリスマス・ファミリー・コンサート	平成25年度	自治体(行政)	その他		一般市民を対象とした、第5回クリスマス・ファミリー・コンサートを、12月2日(土)に大学キャンパス内で開催した。参加者106名。
479	埼玉純真短期大学	子ども支援センター	平成25年度	その他			一般市民からの「子どもの発育・発達」についての相談を受け入れている。相談員は大学教員3名が担当している。
480	埼玉純真短期大学	埼玉県民の日高校生学び夢プラン	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等	その他		埼玉県高等学校進路研究会と埼玉県私立短期大学協会が行っている「埼玉県民の日高校生学び夢プラン」に協力し、埼玉県民の日に希望する高校生および教員に、通常授業への参加を受け入れている。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
481	埼玉純真短期大学	高大連携授業	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携協定により、埼玉県立誠和福祉高等学校、埼玉県立進修館高等学校の生徒に、本学教員の講義を行った。実施回数：誠和福祉高等学校 9回 進修館高等学校 6回 また、埼玉県立羽生第一高等学校とは、アクティブラーニングの授業で交流を行った。
	埼玉純真短期大学	中学生の職場体験	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体(行政)		9月12,13日に羽生市立東中学校の生徒の職場体験を本学図書館で行った。
	埼玉純真短期大学	中学生のためのオープンカレッジ	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体(行政)		羽生市内の中学生を対象としたオープンカレッジを、埼玉県民の日に実施した。
484	武蔵丘短期大学	武蔵丘短期大学公開講座	平成6年度	自治体(行政)			周辺自治体の教育委員会に後援をいただき、今年度は10月14日、10月28日、11月11日の3日間で、本学の特色である栄養とスポーツでの健康の分野で講演や実技を行った。
485	武蔵丘短期大学	健康料理教室	平成7年度	自治体(行政)			吉見町と本学の共催で、本学教員が講師を勤め、本学実習室を会場として実施している。今年度は月日(土)に実施。
486	武蔵丘短期大学	小学生への水泳指導	平成18年度	幼保・小・中・高等学校等			夏休みを利用した近隣小学校の水泳教室に、本学学生が指導または指導補助にあたっている。学生は授業で身につけた指導技術を活かして指導にあたっている。現在の児童の様子が把握でき、インターンシップの要素も含まれている。また、地域の児童とコミュニケーションがとれる貴重な機会でもあるため、今後も継続していきたい。
487	武蔵丘短期大学	インターンシップ	平成3年度	産業界(企業等)			学生が本学で学んだ知識や指導技術を活かす場として、企業や団体において実習的・研修的な就業体験を行う。
488	武蔵丘短期大学	日本スリーデーマーチの健康測定	平成13年度	自治体(行政)			日本最大規模のウォーキング大会である東松山市の日本スリーデーマーチの会場内において、参加者の健康測定を行い、本学教員による健康相談を実施している。
489	武蔵丘短期大学	子ども大学よしみ	平成25年度	自治体(行政)			埼玉県教育局、吉見町教育委員会、吉見町商工会と連携し、子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供するため、7月～10月に計4回の講義等を実施した。
490	武蔵丘短期大学	リカレント教育	平成28年度	自治体(行政)			埼玉県が実施する「大学の開放授業講座(リカレント教育)」として、県内在住の55歳以上の方々を対象に、生活の充実や社会参加のきっかけづくりといたたくことを目指して開放授業を実施している。
491	武蔵丘短期大学	まちなかりノベーションプロジェクト	平成29年度	自治体(行政)			全国的な課題となっている中心市街地の空洞化に対して、東松山市内にて若者の活力により賑わいを創出し活性化を図ることを目的とし、平成30年度以降の事業化に向けて検討を進めている。

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
492	武蔵丘短期大学	埼玉県立北本高等学校	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			北本高校において、スポーツ心理学の出前授業や運動部に加入しているの保護者を対象としたお弁当作りの講習会などを行った。
493	山村学園短期大学	公開講座	平成2年度	自治体(行政)			12月26日 Relax & Refresh ～心と身体をときほぐそう～
494	山村学園短期大学	学生による地域ボランティア活動	平成14年度	自治体(行政)	その他		山村学園短期大学; 認知症サポーター養成講座、はとやまワークショップDAY、のびのび鳩山、わんぱく学級 鳩山町農村公園・鳩山町石坂集会所; のびのび鳩山、わんぱく学級 坂戸児童センター; こどもまつり、秋まつり、もちつき会 ふじみ野市東児童館; フクトピアっ子まつり 鳩山町中央公民館; はとやま祭 鳩山幼稚園; 鳩山町子育てフェスティバル 鳩山町地域包括ケアセンター; ふれあい健康まつり 東松山市市民総合福祉センター; ウィンターイベント 小川町; セタまつり竹飾りコンクール出展 鶴ヶ島市立障害者生活介護施設きいちご; きいちごパーティ
495	山村学園短期大学	学生による地域ボランティア活動	平成14年度	幼保・小・中・高等学校等	地域団体(NPO、ボランティア等)		山村学園短期大学; 子育て支援サークル 双子ちゃん集まれ秋の遠足、鳩山幼稚園遠足 今宿小学校; 「まなびたいむ」放課後補習学習 鳩山高校; 鳩高祭 展示ブース参加 埼玉育児院; チャリティコンサート、クリスマス会 障害者支援施設初雁の家; ウォーキング大会利用者付き添い 特別養護老人ホーム 志木の里; 復興支援ソング「花は咲く」プロジェクト かみふくおか作業所; 「みんな仲間だ! いきいき運動会」 埼玉県こども動物自然公園内こどもの城; 絵本の読み聞かせ(毎月第2土曜日、絵本、紙芝居、ペープサート、エプロンシアター、パネルシアター等の上演)
496	山村学園短期大学	学生による地域ボランティア活動	平成20年度	自治体(行政)			鳩山町つどいの広場「ぽっぽ」において、子どもたちとのふれあい; 手遊び・歌遊び、絵本・紙芝居の読み聞かせ、折り紙・科学あそび、親子ふれあい新聞紙遊び、ハロウィンパーティー(仮装あそび)
497	山村学園短期大学	教員による出前講座・出張講演	平成14年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体(行政)		鳩山高校; 「作って遊ぼう」「まんまる紙ひこうき」 川越西高校; 「作って遊ぼう」 寄居城北高校; 「パネルシアター」 所沢中央高校; 「面接講座」
498	山村学園短期大学	里山保全体験学習	平成14年度	地域団体(NPO、ボランティア等)	自治体(行政)		鳩山町石坂の森において、里山保全体験学習(下刈り、坪刈り、樹木の伐採、自然観察、里山遊び、クラフト作成等)を実施

	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
499	山村学園短期大学	子ども大学はとやま	平成27年度	自治体(行政)			県、鳩山町、東京電機大学と本学が連携し、年6回の講義を実施。本年度の本学でのテーマ;「心に残る絵本とおはなし ~保育ルームや図書館に探しに行こう~」